

あいざわ圭一郎の地域だより

埼玉県議会議員

2023年 Vol.50

県政報告

逢澤圭一郎

県政調査事務所

三郷市早稲田2-8-5-101

TEL 048-949-6901

FAX 048-949-6902

逢澤圭一郎

発行:埼玉県議会自由民主党議員団



県議会2月定例会

皆様の声を県政に活かし持続可能な発展を!!

令和5年度一般会計 超大型予算 2兆2,110億9,500万円を計上

県議会2月定例会では、表題の通り令和5年度一般会計当初予算(案)について審議しました。長引くコロナ禍に加え、昨年からのロシアによるウクライナ侵攻や円安などによる原油価格・物価高騰は、私たち県民の生活に大きな影響をもたらしています。当初予算では、「ポストコロナ元年」を理念として、DX(デジタルトランスフォーメーション)のさらなる推進や中小企業の事業再構築に対する支援強化などが盛り込まれました。県の持続可能な発展につなげていく施策となっております。



令和5年度一般会計当初予算

主な事業について(抜粋)

1. DXの推進による生産性の向上 **15億7,445万円**
2. 資源のスマートな利用の推進 **18億8,408.7万円**
3. 輝き続ける人材の育成・確保 **2億3,307.3万円**
4. 新型コロナウイルス感染症対策 **1,371億8,479.8万円**
5. 防災関連公共事業の推進 **124億8,364.7万円**
6. 交通安全対策の推進 **29億5,591.2万円**
7. 子育て支援の充実 **24億3,013.6万円**
8. 多様なニーズに応じた教育の推進 **26億5,463万円**
9. 生涯を通じた健康の確保 **3億6,374.7万円**
10. 県内中小企業等に対する支援 **111億8,138.5万円**

パーキング・パーミット制度の導入に向け 自民党県議団を代表して 条例の改正を提案!

私は、昨年の6月定例会で、パーキング・パーミット制度の導入を一般質問で提言をしました。その後、自民党県議団では、制度導入に向け条例を改正するためのプロジェクトチームが立ち上がり、私が事務局長に選任されました。プロジェクトチームで会議を重ねたうえで、2月定例会において「埼玉県福祉のまちづくり条例の一部改正」を上程しました。提案者を代表して、本会議・委員会で質疑を受け、慎重審議のうえ全会一致で可決されました。

改正された条例では、制度の趣旨を県民に分かりやすく告知することをはじめ、実行力のある取り組みを県や事業者に求めています。

※パーキングパーミット制度とは、公共施設や商業施設などに設置されている車いすのマークが書かれている障害者等用駐車区画の利用対象者を、障害者、介護が必要な高齢者、妊産婦など一定の方に限定し、自治体が利用証を交付することで適正利用を図る制度です。



令和4年度の所属委員会

企画財政委員会 (副委員長) / 危機管理・大規模災害対策特別委員会



県議会議員4年間の取り組みから 議会で提言

■新型コロナ対応をめぐる問題について

1. 新型コロナ感染症自宅療養者に対する県と市町村の連携について

県は令和2年9月6日付の国の通知を受け、個人情報の提供を前提とした、市町村と連携しての生活支援を行うようになりましたが、第5波(同年7月~8月)までは、保健所が把握した感染者についての個人情報が市町村には伝えられない状況が続いていました。これを受け、私は大野知事に「個人情報を提供し市町村と連携して生活支援を行うべき」と問いました。有事の際は市町村と様々な情報を共有して進めていかなければ、被害を最小限にとどめられないものと考えています。

2. 避難所の運営に関する指針について

自宅療養者への連絡及び避難誘導について、大災害が発生した際の県の考えを聞きました。また、医師会や管轄の保健所と協議の上、市町村もしくは郡市医師会のエリアごとにせめて1カ所は、自宅療養者の方などが避難できる専用の臨時避難所を設けるべきと提言しました。

三郷市の管轄保健所は草加保健所ですが、大規模災害時に保健所だけで対応できるのでしょうか。県民の皆さまの安心安全を実現するため、対策強化に取り組んでまいります。

■保育園・幼稚園の人材確保、運営支援について

保育士、幼稚園教諭の人材不足が叫ばれ、都心近郊では人材確保に大変苦労されています。千葉県では手厚い補助制度が確立されており、同水準まで県単独補助金を引き上げ支援すべきと提言。埼玉県から他県へ優秀な人材が流出しないよう今後も訴え続けます。

■コミュニティ・スクールの推進について

中学校区単位での取り組みの推進について

中学校区単位で、各校の学校運営協議会が一堂に会して協議できる場を作ることが重要だと提言しました。

県は「最終的には全小・中学校にコミュニティ・スクールが設置され、小・中連携も含め、地域一体となって子どもたちを育てる仕組みを目指したい。中学校区単位のコミュニティ・スクールについては、効果的な取り組みとして県内に広めていきたい」との答弁がありました。

※コミュニティ・スクールとは学校運営協議会を導入した学校のことであり、学校と地域住民などが力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる。地域とともにある学校づくりへと転換を図るための有効な仕組みです。今後も県の取り組みをじつくり後押ししながら、必要な助言・提言をしてまいります。

■学習環境のデジタル化について

1人1台のデジタル端末が整備されたが活用している学校もあれば、活用していない学校もあると聞いております。これは学力の差に直結していくことでもあります。県内の自治体ごとや学校ごとに温度差があってはならない。教える側のスキルの問題ですので、ICT教育の強みを活かして全県レベルでの底上げに早急に取り組むべきと提言しました。

県は「市町村の差が少なくなるようにしっかり見取りをしながら進めたい。通常の授業でいかに活用するかということ、教員の研修やウェブ相談窓口を設けるなど、様々な取り組みを総合的に進める」との答弁がありました。

■県立学校の屋内運動場へのエアコン設置について

災害時に避難所となりうる学校の屋内運動場へのエアコン設置を国の緊急防災・減災事業債を活用し進めるよう提言しました。

県からは前向きな答弁はなかったですが、平常時には生徒が利用できるため異常気象が続く近年、必要不可欠なものです。今後も訴え続けます。

※三郷市の全小中学校の屋内運動場にはエアコンの設置が完了しています。私が三郷市議会議員として平成30年に防災・減災事業債を活用してのエアコン設置を提言しました。



県立三郷高等学校体育館

■発達障害児の支援について

1. 保育園・幼稚園・認定こども園での更なる近年、発達障害児は増加傾向と言われており、研修の見直しを求めました。県も「改めながら、研修の見直しをやっていきたい」と答弁
2. 中核発達支援センターにおける初診の待機期間の縮小に取組む

■特別支援学校での医療的ケアの

看護師が学校やスクールバスに配置されている学できない医療的ケア児が存在することに対し、県は「看護師などの人材を」と答弁。改善が少しずつ進んでいます。

■障害者が安心して暮らせる入所施設

1. グループホームで従事する職員の研修
重度障害の方が入居でき、安心して暮らせるのスキルアップが必要。入居待機者を減少させ、職員配置加算も視野に進めることが必要だと提言。私は、本当に手を差し伸べねばならない方々については、他の県に先駆けてでも取り組むべきであり、今後も県に要請していきたいと思います。
2. 身体障害者対応のグループホームの整備
入所待機を減少させていくため、身体障害者グループホームが独自に補助金を加算するなどの積極的支援が効果的か見極め、身体障害者対応のグループホームが得ることができました。

■高次脳機能障害児者支援について

高次脳機能障害は脳の病気や交通事故等によって、進行しない認知症とも言い換えることができて、その対応に隔たりが出ていることから、はじめ先進自治体の参考事例を提言しました。いことから、今後も訴え続けます。

■一級河川大場川、第二大場川の

大場川、第三大場川の浮遊ごみの対策強化しました。その結果、幸和橋付近にフローティングネットを設置し、上流からの浮遊ごみ捕捉箇所になりました。

■高州三丁目地域の雨水対策について

県営三郷公園に貯留施設をつくり、一時的な雨水を貯留するよう提言しました。県は「市から具体的な協議があった際には、支援する」との答弁を得ています。

要請してきた実績と成果

ダイジェスト版《抜粋》

取り組みについて

保育士や幼稚園教諭の段階的な育成につなげて保育所や幼稚園の方々、団体などの意見を聞かれています。

機対策について

現在は平均5.1か月と、かなり長く待たされること関係機関と緊密に連携し、中核発達支援センターしました。

取り組みの充実について

ないため、人工呼吸器の管理が必要な方など通学を望む方には誰一人取り残さないよう確保や福祉タクシーの活用など検討してい

及びグループホームの整備について

の在り方及び職員配置加算について

には、職員するため、職しました。り施策につとを考えてお



について

対応のグループホームの建設、改修が進むよう、が必要だと提言しました。県は「どのような支援ホームの整備に積極的に取り組む」との答弁を

いて

り外傷により脳が損傷を受けた後に起こる障害きる障害です。認知症と同じような症状であり、その改善に取り組むべく医療と福祉の連携を未だ当事者目線では十分な対応ができていな

環境保全について

を要請イシグが増え



について

雨水を貯留できるよう、県と市が協力して整備関係部局と調整を図りながら市の取り組みを

■ペット同行避難について

災害時、行政は原則ペット同行避難を推奨していますが、避難所の体制が整っていない、飼い主のルールが周知されていないなどの課題が山積していることから、県の施策展開を求めました。その後、自民党県議団においてプロジェクトチームを立ち上げ「埼玉県動物の愛護と管理に関する条例」を改正し、条例にペット同行避難を盛り込みました。

■エスカレーターの安全利用に向けた取り組みについて



エスカレーターで歩く人をなくし、高齢者や障がい者、子どもたちの安全に配慮できる埼玉県を作り上げるべきと提言しました。

県は「鉄道事業者との意見交換の場を設けるなど、連携を強化していく」との答弁がありました。

エスカレーターの安全利用街頭キャンペーン(令和4年3月8日、JR浦和駅)

■つくばエクスプレスの東京駅延伸及び8両編成化について

つくばエクスプレスの東京駅延伸及び車両の8両編成化の早期実現に向け、県として積極的に取り組むよう要請。東京駅延伸については「関係自治体と十分連携して対応していく」と答弁。8両編成化に向けては「ホームの延伸工事の期間短縮を働きかけていく」と約束しました。



■埼玉版スーパー・シティプロジェクトにおける地域公共交通の在り方について

公共交通の在り方を進化させ、高齢者をはじめとする交通難民といわれる方々をなくすため、県がバスやタクシーの団体に積極的に働きかけ、自動運転やオンデマンド交通など先進技術を取り入れる状況を作り上げるための支援が必要と提言しました。

県も「事業者と直接働き掛けるような研修会ができないか検討する」との答弁がありました。

■移住の促進及び地域との関わり創出について

東京都内から移住を考えている方からすれば、埼玉県に住むことにより不動産価格が下がることが見込まれます。特に埼玉県東南部は都心からのアクセスもよくメリットは大きいものです。県内の様々な地域への移住人口を増やすために、市町村が行っているシティプロモーションを発信していくため、市町村と連携をとるべきと提言しました。

県は「有楽町の移住サポートセンターでは、県内全域に人を呼び込むという観点から情報提供をしている。実際、県南部や東部への話をいただいているケースもあり、ぜひ各市町村で情報を上げていただいで、一緒になってやっていきたい」との答弁がありました。

■下水道管路の適正管理について

各地で老朽化による下水道管路の事故が発生したことを受け、早急な対応策を求めました。県も直ぐに緊急調査に着手しており「スピード感を持って県民の安全・安心な下水道の維持・管理に全力で取り組む」と答弁がありました。



■小谷堀橋及び三郷橋の架け替えについて

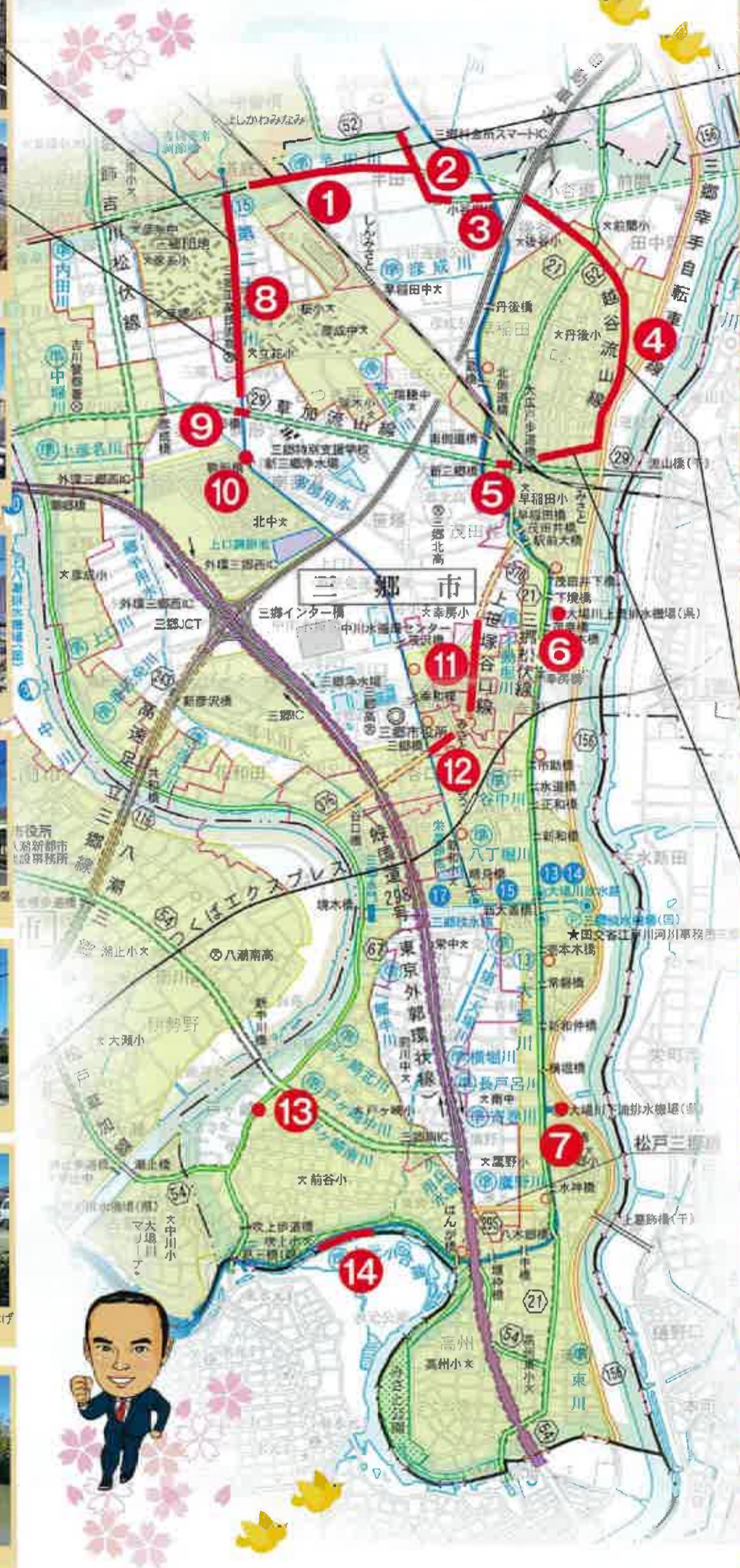
小谷堀橋や三郷橋は老朽化もさることながら、橋梁の形態等から治水安全度についても懸念されており、一日も早い架け替えを要請しました。

その後、両橋の架け替えが事業化され、令和4年度、小谷堀橋は仮橋の工事等が、三郷橋は用地の測量や取得が進められています。今後も完成に向け、県をしっかり後押ししてまいります。



三郷市内の主なインフラ事業

令和5年度当初予算及び令和4年度補正予算(国補正分)において確保することができた、三郷市内の主なインフラ事業箇所です。



② 第二大堀川



③ 駒形新橋



④ 駒形新橋



⑤ 駒形新橋・2016号橋



⑥ 上笹塚谷口線



⑦ 三郷橋



⑧ 葛飾吉川松伏線



⑨ 中堤



⑩ 中堤



⑪ 越谷流山線



⑫ 越谷流山線(半田地区)



⑬ 小谷橋



⑭ 越谷流山線



⑮ 新三郷橋



⑯ 大堀川上流排水機場



⑰ 大堀川下流排水機場



⑱ 大堀川下流排水機場



⑲ 大堀川下流排水機場



あいざわ圭一郎の地域だより

あい ざわ

埼玉県議会議員

逢澤圭一郎

発行:埼玉県議会自由民主党議員団



2023年 Vol.51

県政報告

逢澤圭一郎
県政調査事務所
三郷市早稲田2-8-5-101
TEL 048-949-6901
FAX 048-949-6902

産業労働企業委員会副委員長 自民党議員団 政務調査副会長に就任

皆様の負託に応えるため全力で働きます!

多くの皆様に支えられ、お陰様で県議会議員として2期目を迎えることができました。先の統一地方選挙においては、県民の皆様から様々な「声」をいただきました。この「声」をしっかりと受け止め、誰もが安心して豊かに暮らせる郷土・埼玉を築いていかなければと決意を新たにしています。

私が所属する県議会自民党議員団は総勢58名でスタートすることとなり、議会の過半数を占める最大会派として、その責任を重く感じているところです。また私は、今年度、産業労働企業委員会副委員長に就任し、併せて、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会に所属することになりました。また、県議会自民党議員団の政務調査副会長に就任いたしました。県議団の仲間と力を合わせ、県政の諸課題に全力で取り組んでまいります。

今後とも皆様のより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



大野知事に自民党埼玉県連として要望を提出



日本一暮らしやすい埼玉を実現する『これからの4年に向けて』という大野知事の2期目の公約について、自民党埼玉県連として要望を提出し意見交換を行いました。

それぞれが県民の皆様から選ばれる知事と議会は車の両輪に例えられます。自民党埼玉県連としては、この二元代表制の一翼を担う立場として、知事はじめ執行部に対し是々非々という姿勢で臨み、真に県民の皆様利益・幸福につながる施策を作り上げてまいります。

政務調査会とは

県議会自民党議員団としての政策を練る中心的な組織です。本会議や予算特別委員会それぞれの議員が行う質問の調整や、常任委員会での議案の方向性を協議いたします。また、国に対して行う意見書の団内調整、埼玉県の施策に対して知事に要望する政策大綱の作成、県内各種団体の要望を聞き政策に反映するため調整を行うこととなります。

併せて、埼玉県議会が全国一を誇る、議員政策条例を立案するためのプロジェクトチームの設置・運営をいたします。副会長の要職を与えられ能動的に活動してまいります。



白戸幸仁政調会長(春日部市選出/写真中央)、宇田川幸夫会長代理(八潮市選出/写真右側)と私。

県議会 5月臨時会・6月定例会報告

大型補正予算約183億8千万円を議決

選挙後初となる県議会は5月23・24日に「5月臨時会」が開催され、第1号補正予算183億8,387万9千円の計上等を議決しました。また、6月19日からは「6月定例会」が開催され、「埼玉県税条例の一部を改正する条例」などを議決し7月7日に閉会しました。

5月臨時会で議決した第1号補正予算は、国の「物価高克服に向けた追加策」に対応した、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者への支援策です。その概要は次の通りとなります。

- ①物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援 (46億7,877万8千円)
- ②物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援 (115億4,191万1千円)
- ③物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援 (21億6,319万円)

農業者等の免税軽油の利用環境改善へ

6月定例会で議決した「埼玉県税条例の一部を改正する条例」は、主に自動車税(環境性能割)と軽油引取税の改正です。

自動車税の改正は、地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率を決める燃費基準を段階的に引き上げるためのものです。軽油引取税の改正は、原油価格の高騰を受け農業者等の税負担を軽減するとともに、県への報告制度を年1回に簡素化させることで、より免税軽油が利用しやすい環境となります。

令和5年6月大雨及び台風第2号による 災害に伴う状況について 被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。



三郷市においては、6月2日(金)に総雨量152.0mm(17時20分 時間雨量最大48.5mm)を観測、6月3日(土)には総雨量87.0mm(1時40分 時間雨量最大34.0mm)を観測し、床上浸水2件、床下浸水9件、道路冠水71箇所、車両通行止め9箇所の被害が発生しました。県内でも、草加市、越谷市、松伏町が災害救助法の適用地域となり、被害も甚大だったところ です。

自民党議員団では、6月5日(月)に大野知事に対して、「県内全ての排水機場について調査を実施しポンプ機能の強化を図ること」他4件の緊急要望を提出いたしました。

◀自民党議員団として大野知事に緊急要望書を提出。

内水氾濫対策の強化等を求める意見書を国に提出

近年は国内外で異常気象が頻発しています。豪雨と言えばこれまでは台風による堤防の決壊や越水による被害が想定されましたが、今は、線状降水帯による大雨により、内水被害が増加しています。

三郷市においては、市内の水路から大場川・第二大場川に水が流れ、大場川上流排水機場、大場川下流排水機場を通じてポンプで江戸川に強制排水しています。しかしながら現状でも被害が絶えないことや、県内各地で同じような事例が発生していることから、国に対して、自民党議員団の発案により、「災害救助法の適用についての見直し」「排水機場などの河川機械設備の機能強化」「地方自治体が行う内水氾濫を防ぐ対策についての支援強化」等の意見書を提出しました。

私も、三郷市の内水被害を少しでも軽減するために、埼玉県と三郷市の連携により対策が強化されるよう提言し続けます。



上)栄1丁目
左下)高州3丁目
右下)半田地区



ICT教育の更なる推進について

6月定例会における人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会は、「確かな学力の育成」について審議しました。

現在、児童・生徒1人1台端末が整備されておりますが、先行している自治体では、埼玉県学力・学習状況調査を児童・生徒がタブレット等の端末を活用して実施しております。来年度からは全県での実施を目指しているとのことですが、ICT技術(情報通信技術)の進展は速いものです。近年、チャットGPTをはじめとする生成AI(人工知能)が台頭し、教育の場での活用に様々な声が上がっています。

7月4日に文部科学省が暫定的なガイドラインを示したところですが、教員のAIリテラシー、ICTリテラシーを向上させ、積極的に先進技術を取り入れ指導力向上につなげるよう提言いたしました。



出典:埼玉県教育委員会資料より

算数 問1 下の動画を見て、問題に答えましょう。



皆さまのご参加をお願いします。

シェイクアウト埼玉

県内一斉防災訓練

令和5年9月1日 金 11時58分

あなたがいるその場所で

1

まず低く

2

頭を守り

3

動かない

3つの安全行動を
その場で行うだけ!

シェイクアウト訓練とや
1分程度で
終了

シェイクアウト訓練のあとは
プラスワン

- ・災害用伝言ダイヤル(171)の体感利用
- ・避難場所の確認
- ・マイタイムラインの作成
- ・避難経路の確認
- ・ハザードマップの確認
- ・防災委員の選定 など

埼玉県 埼玉県防災訓練ホームページをご覧ください

QRコードを読み込み、参加登録ページからお申し込みください。

■埼玉県政に対する意見や要望など、皆さまの声をお寄せください。

フェイスブック、インスタグラムもご覧ください!

逢澤圭一郎県政調査事務所

三郷市早稲田2-8-5-101
TEL 048-949-6901 FAX 048-949-6902
office@aizawa-k16.com
ホームページ http://www.aizawa-k16.com



あいざわ圭一郎の地域だより

あい ざわ

埼玉県議会議員

逢澤圭一郎

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

2023年 Vol.52

県政報告

逢澤圭一郎
県政調査事務所
三郷市早稲田2-8-5-101
TEL 048-949-6901
FAX 048-949-6902



9月定例会では一般質問に登壇し、14項目について一問一答方式で県の施策に対して質問・提言を行いました。今号はその中から2項目の概要を2頁に掲載しました。どうぞ一読いただき、県政に対するご意見などをお寄せください。

県議会9月定例会報告

補正予算【第2号】165億1,057万9千円を議決

県議会9月定例会では、一般会計補正予算第2号 165億1,057万9千円の計上等を議決いたしました。また、2期目の県議会議員として最初の一般質問の機会をいただき、14項目における県政の課題を知事はじめ執行部に質問をさせていただきました。

一方、議員提案政策条例として上程されました埼玉県虐待禁止条例の一部改正は、多くの県民の皆様への不安を煽る結果となり、自民党県議団総意で取り下げを決意いたしました。まずは、この条例案について不安・不快になられた皆様へ深くお詫びを申し上げます。

子どもを社会全体で守るという理念を実現するために、縣市連携で放課後児童クラブ等の整備促進も狙ったものでしたが、子育て中の方々の気持ちを逆撫でする発信だったと痛感しております。議員は、皆様にその真意が正確に伝わる発信をしなければならないと再認識させていただいております。

今回は、条例議案の取り下げという形でゼロベースとなりましたが、多くの皆様にいただいたご意見を深く噛み締め、政策提言・政策立案に活かしてまいります。今後ともご指導賜りますようお願いいたします。

11月26日(日) 三郷流山橋有料道路が開通します!

令和元年度から埼玉県道路公社によって工事が始まった、三郷流山橋がいよいよ開通します。去る10月7日(土)には三郷市商工会青年部主催による「三郷流山橋完成記念花火大会 MISATO HANABIGA NIGHT」が盛大に開催されました。

区間	三郷市前間～流山市三輪野山(約2.0km)						
料金	普通車	中型車	大型車	特大車	軽自動車 二輪自動車	軽車両等 (スクーター等除く)	歩行者
	150円	200円	260円	410円	100円	20円	無料

■以下のお支払い方法がご利用できます。



※ ETCGO 現時点で利用できるETCカードは、三井住友トラストクラブ株式会社発行の「ダイナースクラブカード」のみとなります。



思いやり駐車場制度が11月1日にスタート!

令和5年の2月定例会にて、埼玉県福祉のまちづくり条例の一部改正を私が提案させていただき制度導入に至りました。

埼玉県思いやり駐車場制度とは
障害のある方や要介護状態の方、妊産婦の方など、歩行が困難と認められる方に「利用証」を交付し、公共施設や商業施設などに設置されている「高齢者利用者専用駐車区画」及び「優先駐車区画」の適正利用を推進する制度です。

利用証(3種類)
(有効時にヘルムマークに準ずる)

利用できる駐車区画
(イメージ)

交付対象者、申請方法は裏面をご覧ください。区画のある施設は県ホームページで確認できます。

車椅子利用者用、その他の高齢者、障害者専用、妊産婦、けが人専用

各利用証の申請受付は以下の通りです。

- 障害者及び障害者の方
三郷市役所福祉課障がい福祉課障がい福祉係 TEL.048-930-7778 / FAX.048-953-7785
- 高齢者の方など
三郷市役所いきいき健康部長寿いきいき課長寿いきいき係 TEL.048-930-7788 / FAX.048-953-7881
- 妊産婦の方
三郷市役所子ども未来部子ども支援課子育て支援ステーション TEL.048-930-7827 / FAX.048-953-3631
- けが人の方など
三郷市役所福祉部ふくし総合支援課地域福祉係 TEL.048-930-7775 / FAX.048-953-8311

役職 埼玉県議会 自由民主党議員団政務調査副会長

所属委員会

産業労働企業委員会(副委員長) / 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会



一般質問報告

県の施策に対し 質問 14項目について 提言

教育分野におけるデジタル人材確保について

Q デジタル社会の加速具合に教育現場は追いついていないと感じる。児童・生徒のデジタルスキルやリテラシーを育てつつ、AIを問題解決のツールとして使える能力、ICTを道具として使いこなしながらAIでは代替されない能力を育てるためには、戦略的なカリキュラムの実践が必要。そのためには、まず高度専門人材を確保し、



DX時代の教師の教え方に特化した部署を設置すべき。高度専門人材が核となり、ICT教育の進め方や生成AIの使い方など、先進的な埼玉モデルを確立し、市町村のICT教育の中核となる人材を育成するとともに、

ビジョンを共有し現場で実現できるように教師の指導力を向上させることが必要と考える。

A 教育長 議員お話しのとおり、ICTに関する高度専門人材を活用していくことは意義あると認識する。先日、教育局では教育分野におけるICT活用の専門家を招き、教育DXの現状やその推進に必要な視点や考え方などについて職員研修を行い、ICTに関する高度専門人材を確保し、活用していくことの重要性を再認識した。

今後、本県のICT教育に関するビジョンの作成や指導方法の検討、教員への研修などに高度専門人材を活用していくため、その確保の方法やその人材を核とした組織体制について検討していく。

三郷市内の治水対策について

Q 令和5年台風2号に伴う梅雨前線による大雨では、大場川上流排水機場のポンプをフル稼働させても三郷市内の広範囲で道路冠水が発生した。県の河川計画では、三郷市内の大場川には三郷放水路以北の地域に3箇所、第二大場川には1箇所の河川調節池の設置が予定されているが、用地買収や工事費用等課題も多く時間がかかることが想定される。そこで、県市連携事業により大場川上流排水機場に排水ポンプの増設を提案する。

A 県土整備部長 令和5年6月の大雨による内水氾濫被害を受け、9月25日に国、県、三郷市など6市1町で構成される「中川・綾瀬川流域治水協議会緊急流域治水部会」を設置し、緊急的に実施する流域治水の取り組みについて検討を開始した。

今後、この部会において三郷市が検討する内水対策を踏まえ、議員ご提案の大場川上流排水機場の排水ポンプの増強について研究していく。



6月の大雨による内水氾濫被害の様子(半田地区)

一般質問全項目《令和5年10月4日/一問一答式》

- 1 知事公約について(知事)
 - (1) あと数マイルプロジェクトについて
 - ア 既設線の延伸を目指す考え方について
 - イ 会議体の設置について
 - (2) 産前産後の妊産婦に確実に届く支援
 - ～県有施設における授乳室の設置拡大について～
 - (3) 幼児教育での非認知能力の重要性について
 - (4) 保育士人材確保に向けた処遇改善について
 - (5) デジタル人材の確保・育成について
 - ア DX人材採用にあたり求める役割について
 - イ 今後の採用計画について
 - ウ 身分併有型特定任期付職員制度の導入について
- 2 教育分野におけるデジタル人材確保について(教育長)
- 3 特別支援学校と放課後等デイサービスの関わりについて(教育長)
 - (1) 小中学校及び特別支援学校と放課後等デイサービス事業所との情報共有について
 - (2) 県立特別支援学校における駐車場対策について
- 4 個別避難計画の作成支援について(福祉部長)
- 5 草加児童相談所の一時保護所の設置について(福祉部長)
- 6 三郷市内の治水対策について(県土整備部長)

一般質問の様子を議会中継でご覧ください。



県営みさと公園の防災施設設置状況

危機管理・大規模災害特別委員会では、県営公園の防災機能の拡充について説明がなされました。みさと公園は、市町村の地域防災計画での避難地等の指定はもとより、県の防災活動拠点、国民保護法に規定する避難施設、内閣府が定める救助活動拠点・広域物資輸送拠点に指定されています。首都直下地震に備えた様々な防災施設が設置されております。

みさと公園 防災施設設置状況図



■埼玉県政に対する意見や要望など、皆さまの声をお寄せください。

フェイスブック、インスタグラムもご覧ください!

逢澤圭一郎県政調査事務所

三郷市早稲田2-8-5-101
TEL 048-949-6901 FAX 048-949-6902
office@aizawa-k16.com
ホームページ http://www.aizawa-k16.com



あいざわ圭一郎の地域だより

あい ざわ

埼玉県議会議員

2024年 Vol.53

逢澤圭一郎



県政報告

逢澤圭一郎
県政調査事務所
三郷市早稲田2-8-5-101
TEL 048-949-6901
FAX 048-949-6902

県議会
12月定例会報告

物価高への緊急支援に約115億円を議決

皆さまには、お健やかに新しい年をお迎えになりましたことと心よりお慶び申し上げます。

県議会12月定例会は12月4日から22日の日程で開催され、一般会計補正予算【第3号】9,688万1千円、【第4号】18億1,140万4千円、【第5号】114億9,715万2千円等を議決しました。

補正予算【第5号】は、物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するための、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づくものです。これまで県が進めてきた福祉・医療施設等への光熱費等の支援、バス・タクシー事業者への燃料代の支援、LPガスを使う一般家庭への支援や、中小企業等に対する省エネ・再エネ活用設備の導入支援等に加え、トラック運送事業者に対する燃料費の支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減策、一人親家庭の子供の進学等への支援等が新たに盛り込まれました。

本年も様々な課題に全力で取り組んでまいります。皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



補正予算【第5号】の主な内容

物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援

- ① LPガスを使用する一般消費者等に対する支援…………… **31億8,743万7千円**
LPガス料金の高騰による一般消費者等の負担を軽減するため、販売事業者を通じ、価格高騰の影響分の一部を補助する。*
- ② **新** 子供の進学等への支援…………… **1,171万5千円**
経済的課題を抱えるひとり親家庭等の子育て世帯について、子供の進学に向けたチャレンジを後押しするため、大学等の受験料や中学・高校3年生の模試費用などの支援を行う市町村に対して補助する。
- ③ 福祉施設、医療施設等に対する支援…………… **36億148万4千円**
光熱費等の高騰の影響を緩和するため、高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、病院、一般診療所、分娩取扱助産所、施術所、私立学校、卸売市場、園芸施設等に対し補助する。
- ④ **新** トラック運送事業者に対する支援…………… **23億2,800万円**
燃料価格の高騰の影響を緩和するため、運送事業者に対し補助する。*
- ⑤ 地域公共交通事業者に対する支援…………… **1億2,900万円**
燃料価格の高騰の影響を緩和し運行継続を支援するため、乗合バス及びタクシー事業者に対し補助する。
- ⑥ 中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への支援…………… **14億円**
中小企業等におけるエネルギー使用量及びCO2排出量の削減による体質改善を更に促すため、空調設備・ボイラー等の更新及び蓄電池と組み合わせた太陽光発電設備等の導入経費を補助する。*
- ⑦ **新** 県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減…………… **3億489万4千円**
県産農産物の取扱量の増加及び県民の家計負担の軽減を図るため、量販店等が行う販売促進キャンペーンに対し補助する。
- ⑧ **新** 施設園芸農家の省エネ転換への支援…………… **2億4,675万円**
燃料価格の高騰の影響を受けにくい省エネ型施設園芸への転換を促進するため、施設園芸農家に対して、ヒートポンプなどの省エネ機器や資材の導入経費を補助する。*



役職 埼玉県議会 自由民主党議員団政務調査副会長 所属委員会 産業労働企業委員会 (副委員長) / 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

* 繰越明許費の設定あり

一般質問
報告

県の施策に対し 質問 提言

知事公約について

産前産後の妊産婦に確実に届く支援

～県有施設における授乳室の設置拡大について～

Q 県有施設における授乳スペースの設置について、6月定例会での一般質問に対し「部局横断のプロジェクトマネジメント手法を生かした子ども・子育てのプロジェクトチームを立ち上げた」との答弁があったが、その概要が未だ示されていない。プロジェクトの概要も含め、今後どのように進めていくのか伺いたい。

A 知事 現在、県5か年計画における「子育てに希望が持てる社会」の実現を目指し、希望する方が安心して子どもを生み育てることができる地域づくりを進めるための議論をしているところ。授乳スペースの設置についてはこれまでも、県有施設の新設・改修の際に検討を進めてきた。今後は、授乳室が設置されていない県有施設も、工夫の余地がないか改めて検討をさせたい。

Q これまでのように部局ごとに任せるのではなく、子ども・子育てプロジェクトチームが先頭に立って進めていただきたいと思います。再度考えを伺いたい。

A 知事 重点施策について縦割り行政を排して考えていくことも必要と考えおり、新年度予算についてはプロジェクトにおいて議論し、課題解決に向けた施策としてプロジェクトから事業提案をしていく。授乳スペースの整備については、整備の方向性は既に出ている。今後は部局が所有している施設の状態によって、個別に予算編成過程で検討を進めていく。

幼児教育での非認知能力の重要性について

Q 今後はロボットやAIが台頭してくる時代となる中、人間の労働市場での価値は、コミュニケーション能力やチームワークができるといった非認知能力的要素が重要となる。そのためには、幼児教育での非認知能力の育成の観点から、更なる投資が必要不可欠と考える。特に保育所について「教育をする施設」と明確化されたのは2018年でまだ日が浅い。こういった観点から、幼児教育の現場で今何が必要で、何を求められているのか、知事の認識を伺いたい。

A 知事 県では、「保育士等キャリアアップ研修」や「保育士等資質向上研修」を実施し、幼児教育に関する理解を深め、個々の子供の発達の状態に応じた教育力を養うなど、保育士の質と専門性の向上を図っている。今後も、研修等により、保育士の質と専門性を向上させることで、保育現場における子供たちの非認知能力の育成を支援していく。

保育士人材確保に向けた処遇改善について

Q 保育士の人材不足が顕著な市町村では、既に市の単独補助を上乗せして人材確保を図っている。三郷市では、保育士に対して最大4万5,000円、補助金要綱に基づいて民間保育士施設等運営改善費補助金請求書によって誰に対して幾ら支払われているのか、毎月確認をしている。知事の2期目にあたり、いま一度、保育士の人材確保に向けた処遇改善について、県としても市町村の後押しをする形で支援することについて所見を伺いたい。

A 知事 県では、保育士自身に直接支援が届かなければならないと考え、処遇改善として就職準備金の貸付けや宿舍借上補助の県独自の上乗せのほか、今年度からは保育士への奨学金返済事業を行っている。今後も直接支援が届く処遇改善に、市町村と共に取り組んでいく。

Q 県の処遇改善が届いているのは限られた保育士だけで全員には届いていない。直接賃金に上乗せをすれば、正規職員全員に処遇改善が届くわけで、賃金に上乗せする形でないと人材確保は難しいと私は考える。いま一度、知事の答弁を求めたい。



A 知事 保育士の給与体系は保育所ごとに定められており、給与額は保育所の経営判断に委ねられている。施設側の給与体系はそれぞれ異なり、県が上乗せを行っても、その分を職員給与に増額させたかについての確認はできない。よって県としては、給与への上乗せではなく、就職準備金の貸付けや宿舍借上補助の上乗せ、奨学金返済事業などの直接支援が届く取り組みを行っている。

Q 知事の答弁からは、他県や市町村による単独支援を全否定しているように聞こえる。今、ここで明快な答弁は出てこないと思うが、ぜひ私が述べたことを十分考慮して検討していただきたい。知事の考えを伺いたい。

A 知事 県は単独の補助を否定したことはなく、給与への直接ではなく、直接届く支援を行っていきと申し上げている。なお、給与への上乗せの場合に、ベースアップをその分押し下げてしまう等の確認ができないので、そこについてどのような確認が取れるかどうか、直接届く補助についての効果と合わせて検証していきたい。

個別避難計画の作成支援について

Q 共助を必要とする避難行動要支援者の方々に必要な、実効性のある個別避難計画の作成支援は急務と考える。しかし大きな課題は、防災と福祉が連携できていないこと。一部の自治体では、実効性のある個別避難計画の作成を進めるために、ケアマネジャーに個別避難計画の作成業務を委託しているところもある。また、ケアプランの作成に合わせて、自主防災組織や民生委員などと協力しながら、個別避難計画の作成を進めているところもある。

本県もケアマネジャー等を活用して、実効性のある個別避難計画の策定をより一層進めるため、個別避難計画の作成に協力するケアマネジャー等の報酬の一部を市町村に対して補助するなどの支援を実施すべきと考える。福祉部長の見解を伺いたい。

A 福祉部長 ケアマネジャーへの補助については、市町村における計画作成経費に国の交付税措置が講じられており、県で負担するのは難しいと考える。そこで令和5年7月に、全国知事会を通じて、ケアマネジャー等の専門職が計画策定に参画することを法律上の職務として位置づけ、報酬の加算を創設するよう国に要望をした。今後も、機会を捉えて国に強く要望していきたい。

Q 市町村に対する国からの交付税措置は普通交付税と聞いており、実額として幾ら措置されるか分からないので使いづらく、さらに不交付団体には届かないということもあり、インセンティブとしては不完全というのが市町村の声。実効性のある計画づくりに福祉専門職は欠かせない。県として市町村に対して何らかの支援は考えていないのか、再度伺いたい。



A 福祉部長 現在、福祉専門職等への補助を実施している都道府県は2県。補助以外にも含め他の都道府県の支援の取り組みを調査し、研修以外にどのような支援ができるのか検討していきたい。

■埼玉県政に対する意見や要望など、皆さまの声をお寄せください。

フェイスブック、インスタグラムもご覧ください！

逢澤圭一郎県政調査事務所

三郷市早稲田2-8-5-101
TEL 048-949-6901 FAX 048-949-6902
office@ajzawa-k16.com
ホームページ http://www.ajzawa-k16.com



あいざわ圭一郎の地域だより

あい ざわ

埼玉県議会議員

2024年 Vol.54

逢澤圭一郎

発行:埼玉県議会自由民主党議員団



県政報告

逢澤圭一郎
県政調査事務所
三郷市早稲田2-8-5-101
TEL 048-949-6901
FAX 048-949-6902

県議会2月定例会

課題に真摯に挑戦する未来を切り拓く施策として

令和6年度
一般会計予算

約2兆1,197億4千万円の予算を議決

令和6年度の主要施策の概要

- 1. 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上.....9億1,168万円
行政サービスデジタルトランスフォーメーションの推進、学校教育のデジタル化の推進、県内企業デジタルトランスフォーメーションの推進、等
- 2. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現.....26億4,854万円
新たな子供支援活動拠点の整備促進、地域商業活性化支援、既存住宅流通促進、等
- 3. あんしんしあわせ たのしい こども支援の充実.....45億7,961万円
子供等の意見を反映した「こどもまんなか社会」推進、子育て世帯の医療費負担の軽減、放課後児童クラブの充実、潜在保育士活躍応援、男性の育休取得推進、バーチャルユースセンター(仮称)の設置、等
- 4. 災害対応力の底上げと自然災害・新たな感染症への備え.....131億8,982万円
ドローンを活用した発災初期の情報収集力強化、ジェンダーの視点による避難所開設・運営の充実強化、安全・安心を確保するための道路の維持管理・道路情報強化、埼玉版流域治水対策の推進、新たな感染症への備え・発生初期の検査実施体制の整備、他

中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトがスタート

～令和5年6月大雨を受けて国・県・市町が連携し、緊急的な取り組みを実施～

中川・綾瀬川流域において、国・埼玉県・関係市町が連携して流域治水の対策が進められることになりました。三郷市では、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として、内水氾濫に対応するための排水ポンプ施設の整備、排水路の整備、雨水貯留施設の整備などの検討や、国・県との連携による施設の運用が図られます。「被害対象を減少させるための対策」として、特定都市河川浸水被害対策法に係る検討・調整が実施されます。また、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」として、浸水箇所を早期に把握し、早期復旧に努めるとともに、マイ・タイムラインの普及等を促進し、避難体制の強化が図られます。



区分	対策内容	対象地区	主体	期間	
				令和5年	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	●河川整備(堤防整備、設備改良)	中川	国	→	→
	◆河川護岸・樹木伐採	大堀川、第二大堀川	県	→	→
	◆校庭貯留施設整備	三郷工業技術高等学校	県	→	→
	①排水ポンプ施設の整備	戸ヶ崎地区	市	→	→
	②排水ポンプ施設等の中央監視及び遠隔操作設備の整備	市内各所	市	→	→
	③河川改修	下第二大堀川	市	→	→
	④排水路の整備	市内各所	市	→	→
	⑤調整池の浸水対策検討	常高調整池、インター南調整池	市	→	→
	⑥雨水貯留施設の整備	高州小学校	市	→	→
	⑦雨水貯留施設の整備	高州地区	市	→	→
被害対象を減少させるための対策	⑧既存調整池等の弾力的運用	市内各所	市	→	→
	⑨調整池施設の弾力的運用	早調池	市	→	→
	⑩大堀川水門の弾力的運用	大堀川水門	市	→	→
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	特定都市河川浸水被害対策法に係る検討・調整		国・県・市	→	→
	土地の防災リスク情報の充実		市	→	→
	避難体制等の強化		市	→	→
詳細な検討を進める対策	関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化(小型浸水センサーの設置 他)		市	→	→
	◆調整池・排水量増強の検討	大堀川	県	→	→

*詳細については検討後、プロジェクトに反映

役職 埼玉県議会 自由民主党議員団政務調査副会長 所属委員会 産業労働企業委員会(副委員長) / 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

三郷市内の主なインフラ事業

令和6年度当初予算及び、令和5年度2月補正予算において確保することができました、三郷市内の主なインフラ事業箇所です。



16 三郷流山橋
鉄塔移設の設計に対する東京電力への負担金



17 第二大堀川
測量設計(橋梁建設機材)



15 駒形新橋
用地測量・物件調査・物件補償・用地買収



15 駒形橋
橋梁架換工事負担金



14 中川水循環センター
市役所 最新都市 設計事務所
自家発電機コントローラー改築工事・汚泥処理施設基本設計業務委託等



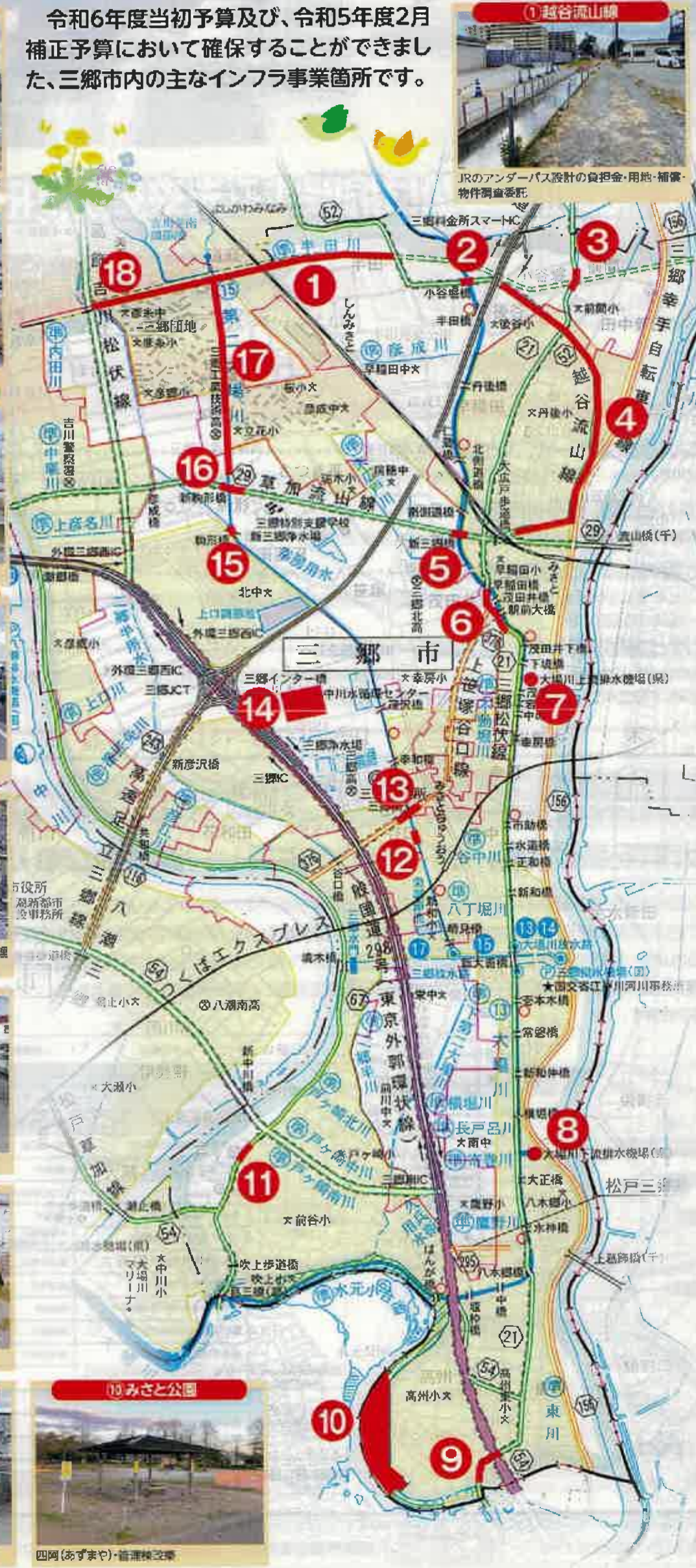
13 三郷橋
測量設計(三郷橋建設物調査)



12 第二大堀川
護岸工事



11 葛飾吉川松伏線(戸ヶ崎)
歩道整備工事



1 越谷流山線
JRのアンダーパス設計の負担金・用地・補償・物件調査委託



2 小谷堰橋
仮歩道橋の工事及び借地・移設補償



3 三郷松伏線
市道に移管するための補修工事・台帳整備委託



4 越谷流山線
市道に移管するための台帳整備



5 新三郷橋
舗装工事・測量設計



6 三郷松伏線(幸房)
舗装修繕(切開オーバーレイ)



7 大堀川上流排水機場
保守点検・耐震工・調整池・排水機場増強検討



8 大堀川下流排水機場
ポンプ設備整備工・保守点検・耐震工



9 松戸草加線(高州4丁目)
舗装修繕(切開オーバーレイ)



10 みさと公園
四阿(あずまや)・遊歩機交換

topics 1



23.12.5

「大野知事を囲む女性の会」に同席させていただきました。そこでは知事に「埼玉県を全国のモデル県にする県政を」との提言をしました。

昨年、「大野知事を囲む女性の会」に同席させていただきました。そこでは知事に「埼玉県を全国のモデル県にする県政を」との提言をしました。

●今回ご紹介するのは「株式会社デリモ」代表取締役社長 栗田美和子さん。食品製造の三代目女性社長です。企業内に保育所を設置するなど子育て世代や女性が働きやすい職場環境を積極的に整えています。また、シニアの活動の場や街のコミュニティの場として越谷駅至近に飲食店「シェアダイニング サルデー」を開業するなど広範囲に活動。

異業種交流グループ、サイタマ・レディーズ経営者クラブの会長に二〇二一年六月に就任。講演会やセミナー開催を通して女性経営者や起業家の意欲の向上や経営力のアップ、経営革新を促しています。

越谷在住
光り輝く女性たち!

topics 2



23.9/11

この実証装置で様々な状況を想定し運転者のどのような行動が事故を発生させるのか、開発装置のアクセラブレターがこの事故を防げるのかをこの実験で実証したそうです。

●昨年の新年号に掲載した踏み間違い暴走事故を防ぐ装置(アクセルブレーカー)の実証実験をしている埼玉大学にお邪魔してまいりました。この装置開発のキッカケは母子が亡くなった「池袋暴走事故」で自動車部品の製造業している市内の企業が自動車関連企業として事故を発生させない手立て考案するのは当然の責任との思いであったと聞いています。開発にあたり実証研究をされたのが埼玉大学大学院理工学研究科 准教授 楓 和憲氏と研究室の学生の皆さんです。夏季休校中でキャンパスは静かでしたが実証実験室は熱気で溢れていました。

私もバーチャルリアリティ装置を体験させて頂く事に、左記の写真を見て下さい。シートとハンドルだけに見えるでしょうがゴーグルを着ると実際の車に乗っているようで車種はプリウス。ハンドル・アクセルなど運転装置を操作するとまるで現実に町中を走行しているよう。

越谷で開発!! 「アクセルブレーカー」
続報! (訪問体験記)

フォト・アラカルト



令和6年仕事始め式



元旦マラソン応援



新年お話を聞くと!



出初式

埼玉県議会議員

浅井 明



- 文教委員会委員 ■ 危機管理・大規模災害対策特別委員会委員長
- 埼玉県国土利用計画審議会委員 ◆ 自民党埼玉県連越谷支部長
- 浅井明県政事務所 〒343-0813 越谷市越ヶ谷2-8-24 森田ビル2F(201号)
Tel.048-940-5193 fax048-940-5195 メールアドレス:info@asaiakira.jp



新年お祝い 宮前橋

●新年早々に能登半島に震度7の大きな地震災害が発生しました。災害に襲われた方々にお見舞いを申し上げると共に被災地の一日も早い復興をお祈りします。

●埼玉県では石川県の要請により災害派遣精神医療チーム(DPAT)と災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣。現地での医療活動と共に被災者の「心のケア」の精神医療活動を行います。また、現地の要請にあわせ求められる部署に順次職員を派遣します。

●3期目県政にお送り頂いた昨年5月8日から新型コロナウイルス感染症も「5類感染症」に移行し行政が関与する仕組みから自主的な取組の対応に変わりました。これは効果的・効率的な対策・治療などが見出されたことや病原性が異なる変異株の出現が認められないことだそう、治療費・検査費は有料ですが、当分の間ワクチン接種は無料です。

●コロナ禍の各界に残した傷跡は大きくその修復に当たり様々な考察の中でニューレジリエンスという提案がなされました。レジリエンスとは「困難をしなやかに乗り越え回復する力」との意で、今後起こりうる感染症や自然災害に強い社会を構築するという理念でR3年6月にフォーラムが設立され「命と生活を守る」活動としてR5年7月に岸田首相に第3次提言を手渡しております。私もこの活動に賛同しており昨年9月の定例会で県における取組を質問した処です。

●昨年11月5日に地方大会としては初めてニューレジリエンスフォーラム埼玉県大会が県民健康センターで開催され、大野知事はじめ、県下の各界から多くの方々が出席されました。

●県の医療・経済・防災等の政策にニューレジリエンスの提言が大きく取り入れられると考えます。この能登半島地震災害への対応が国においても県においても試金石となるでしょう。

●5類に移行したといえ、インフルエンザ患者が急増しており、被災地の避難所でも感染が多発。本年夏季にはコロナ感染症の「第9派」の懸念がされています。今後も一人ひとりの自主対策が必要です。

●本年は辰年、陽の気が動き大きく成長する年と云われます。希望を持って頑張りましょう。



能登半島地震支援募金 岡田副議長と

Contents

- ご挨拶
- 定例会報告
- サンシティ建替問題
- トピックス

■定例会報告 令和5年9月28日 一般質問7項目 | 0問

1, 知事公約の「これからの4年に向けて」について

- (1) レジリエンス強化について
- (2) 子育て支援について

2, 豪雨災害時の中川・新方川流域における治水対策について

3, 緊急浚渫推進事業の取組について

4, 踏み間違いによる暴走抑制装置の普及啓発について

5, 県南部における「ドッグラン」構想について

6, シベリア強制連行抑留者慰霊碑の建立について

7, 地元問題

- (1) 県東南部における越谷市のコンパクトシティの取り組みについて
- (2) 都市計画道路越谷市役所通り線の事業化について
- (3) 越谷市保健所について



議会中継アクセス

● 1の質問はこの年8月に埼玉県知事、2期目に当選なされた大野知事が示された選挙公約について質問しました。起こりうる災害やパンデミックなどの危機にレジリエンスを成し遂げるため埼玉版FEMAを駆使し想像力と準備を持ってあたるとの答弁を戴いた。

※FEMA（米国連邦緊急事態管理庁）埼玉版FEMA（災害等の危機に備えて関係機関同士の連携を強固にするため図上訓練を重ねる手法）

- 子育て支援の拡充として乳幼児医療費支給の対象年齢の引き上げ。所得制限撤廃を約束。
- 2・3は昨年発生した「内水氾濫」に対する対策について質問。治水の質問としてはH28年より第2大吉調節池の提案から取り組んでいる。「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」として対策をまとめ、本年度で終了する「緊急浚渫推進事業」を今年度以降も継続できるように国に要望書を提出との答弁。
- 4は市内事業者の考案した装置。トピックスで詳しく紹介。
- 5はペットブームのなか県東部に不足しているドッグラン施設設置の可能性について質問。設置には課題があり、実現の可能性を調査するとの答弁を都市整備部長から戴いた。
- 強制連行で極寒の地に抑留され無念の内に亡くなった多くの人々を慰霊し、戦争の残虐さを伝え平和教育に繋げる為、県内建立の可能性を質問した。福祉部長から関係団体のお話を伺いながら県としての支援を検討するとの答弁を戴いた。（埼玉新聞 R5、9/28 掲載）

● 7, 地元問題

- (1) 越谷市が県東南部のコンパクトシティ（中核都市）として名乗りを挙げる為にはコミセンの新規建設は越谷市のフラッグシップとして欠かせないと考え、県がどの様な対応を考えているか質問。この問題は越谷市の将来を左右するもので次項に提議し、皆様に実情をお伝えしたい。
- (2) 事業化に向けて十数年に亘り続けている質問であるが、県の動きは鈍い、市が進めている当該道路と接続する市道拡幅事業が進捗すれば県も対応を考えるようだ。
- (3) 越谷保健所は県から人的支援を受けているが申し合わせている支援期間が来年で終了する。引き続きの支援をお願いした処、了解を得た。

■サンシティ建て替えに思う！



サンシティ
ホール棟

- 越谷市サンシティ（市民ホール棟及び商業棟）の老朽化による全施設を解体撤去し公共施設と民間収益施設を新たに整備・運営する「整備基本計画」の策定発表はこれを機にコロナ禍で落ち込んだこの地域の活性化を図るだけでなく越谷市全体の活力と共に埼玉県東部地区のシンボリック構造施設を誕生させたいと多くの市民が期待を寄せ市民ヒアリングでも様々な夢とアイデアが寄せられていた。
- 越谷市では「創出懇談会」「越谷サンシティ整備懇談会」と2つの懇談会を立ち上げ、市民

の皆さんや各界の方々を招集して数回に亘り開催した。その懇談会でも概ね全面建て替えに前向きで様々な構想が論議されたと聞いていた。

● この状況のなかで R5 年5月31日に福田市長は財政的理由から全面的解体を見直しホール棟は改修。商業棟については敷地面積1万1000㎡の建て替えを事実上民間に丸投げの新聞発表をした。

1 行政機関の首長が議会に図らずにいきなりマスコミに発表する異例の行動を取った。

● 財政困難を理由として他の越谷市保有施設の多くが老朽化して建直し・改修を迫られサンシティ建て替えにのみに事業費を当てられないとの事。こんなことは昨日今日に判明した事ではない。サンシティ全施設の撤去・新たな施設の事業策定をした時点で把握できなかったのか。福田市長の首長としての見通しの甘さや財政運用を始め市政運営に危惧を感じる。

● 私は越谷市のコンパクトシティ化構想を持っている。東武スカイツリーラインと JR 武蔵野線の交差する越谷市は東部地区におけるコンパクトシティに成長する要素を多大に持っている。

● 武蔵野線のレイクタウン駅は日本最大級のショッピングセンターと大相模調整池の水辺活用地区。スカイツリーラインの越谷駅は市役所と江戸街並みを生かした行政と歴史ロマンの地区。両地区を鉄道で繋ぐ南越谷駅は市民ホールと飲食店街のエンターテイメント地区。

● 南越谷地区のサンシティが建替えられ、市民や有識者から挙げられた様々な構想が具現化した施設が完成すれば南越谷地区の賑わいが復活するだけでなく他の2地区の発展にも繋がり、埼玉県東部地区の新たなランドマーク・フラッグシップとなり、県における東部地区の地域興隆となります。

● 大野知事も「核となる拠点支援で産業振興とコンパクトなまちづくりを進める。」と述べており、財政困難を理由とするなら、都市機能を誘導する区域内の都市基盤や施設整備とソフト事業を包括的に支援する国の交付金制度があり、県の「スーパー・シティプロジェクト」公募に合致すれば交付金が交付される。越谷市はこのプロジェクトに参加もしていない。福田市長の再考を願う。



商業棟

埼玉県議会議員

県政報告

令和5年(2023年)春号

阿左美けんじ

A S A M I K E N J I

■県議会2月定例会特集

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
埼玉県議会議員 阿左美健司
〒368-0072 秩父郡横瀬町横瀬6144-10
TEL.0494-26-7435 FAX.0494-26-7434

URL <https://asami-kenji.com/>

県議会2月定例会

皆様の声を県政に活かし持続可能な発展を!!

令和5年度一般会計 超大型予算 2兆2,110億9,500万円を計上

県議会2月定例会(2月20日開会~3月17日閉会)は、令和5年度一般会計当初予算2兆2,110億9,500万円の計上等について審議しました。

私たち自民党県議団は昨年秋、ポストコロナを見据え地域経済の活性化に全力で取り組むべきと政策大綱にまとめ、大野知事に要望してきました。令和5年度当初予算は、私たちの主張が一定程度反映された内容となりました。

長引くコロナ禍に加え、昨年からのロシアによるウクライナ侵攻や円安などによる原油価格・物価高騰は、私たち県民の生活に大きな影響をもたらしています。

当初予算は『ポストコロナ元年』を理念として、DX(デジタルトランスフォーメーション)のさらなる推進や中小企業への支援、防災対策の強化などが盛り込まれ、課題の解決や経済施策を進め、県の持続可能な発展につなげていく施策となっています。



県議会と県執行部との新年賀詞交歓会にて(1月5日)、大野元裕知事と令和7年に開催される「第75回全国植樹祭」についてなど意見交換をしました。

パーキング・パーミット制度の導入に合わせ 自民党県議団が条例の改正を提案

私たち自民党県議団はパーキングパーミット制度の本県での導入に向け、昨年の秋からプロジェクトチームを立ち上げて審議を進め、2月定例会において「埼玉県福祉のまちづくり条例の一部改正」を提案しました。条例では、制度の主旨を県民に分かりやすく告知することをはじめ、実行力のある取り組みを県や事業者等に求めています。

※パーキングパーミット制度とは、公共施設や商業施設などに設置されている車いすのマークが置かれている障害者専用駐車区画の利用対象者を、障害者、介護が必要な高齢者、妊産婦など一定の方に限定し、自治体が利用証を交付することで適正利用を図る制度です。



令和5年度一般会計当初予算

歳入

(単位:億円)



●県税収入は、個人県民税や法人二税など8,148億円を計上
●国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金など2,978億円を計上
●県債は、臨時財政対策債など2,007億円を計上

歳出

(単位:億円)



●教育費は、教職員給与費や特別支援学校の補給費など4,767億円を計上
●民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金、新たな児童福祉施設の整備など4,275億円を計上
●諸支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、後会計への支出金など3,665億円を計上

令和4年度の所属委員会

文教委員会(副委員長) / 少子・高齢福祉社会対策特別委員会

阿左美健司の活動報告はホームページでもご覧いただけます。



東秩父村の主な県事業

令和5年度、予算を確保することができました秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・東秩父村の主な県事業(インフラ整備)をご報告します。

〈長瀬町〉

路線名等	事業概要
15 国道140号(本野上)	自転車歩行者道整備(L=195m, W=6.0(12.0)m)
15 長瀬尻玉線(野上下郷)	自転車歩行者道整備(L=80m, W=7.6(12.0)m)
15 国道140号(本野上)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=195m, W=6.0(12.0)m)
15 白鳥橋(岩田樋口停車場線)	橋りょう修繕(塗装塗替)
15 国道140号(矢那瀬工区)	災害防除(詳細調査・集水工)(W=6.7m, L=15m)
15 国道140号(本野上)	舗装道整備(舗装修繕)(W=6.7m, L=440m)
15 国道140号(矢那瀬)	舗装道整備(舗装修繕)(W=6.3m, L=460m)
15 荒川	河川改修(河道掘削工)
15 宿本	急傾斜地崩壊対策事業(擁壁工、物件補償)
15 荒川	河川改修費(水辺)(河川管理施設修繕)

〈東秩父村〉

路線名等	事業概要
15 大河原橋(熊谷小川秩父線)	橋りょう修繕(橋脚補強、落橋防止)
15 大河原橋(熊谷小川秩父線)	橋りょう修繕(補修設計、断面修復)
15 熊谷小川秩父線(皆谷工区)	災害防除(大型ブロック工)(W=6m, L=60m)
15 熊谷小川秩父線(奥沢工区)	災害防除(法枠アンカー工)(W=6m, L=150m)
15 熊谷小川秩父線(坂本)	舗装道整備(舗装修繕)(W=6m, L=300m)
15 熊谷小川秩父線(皆谷)	舗装道整備(舗装修繕)(W=6m, L=300m)
15 摩利支天沢	砂防施設事業(用地買収、物件補償)
15 上の山	砂防施設事業(地すべり対策工)
15 柳沢	砂防施設(測量設計)
15 白石	社会資本整備総合交付金(急傾斜)事業(測量設計)
15 浄蓮寺沢	社会資本整備総合交付金(砂防)事業(工事用道路工)
15 柳川	河川改修(水辺)(河川管理施設修繕)

事業概要
道路改築(L=900m, W=10.0(10.0)m)
橋りょう架換(L=480m, W=6.0(10.0)m)
社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=650m, W=6.0(10.0)m)
社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=900m, W=10.0(10.0)m)
社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=220m, W=6.5(12.5)m)
道路改築(L=415m, W=5.5(9.5)m)
道路改築(L=8,950m, W=5.5(7.0)m)
線) 橋りょう修繕(橋脚補強)
線) 橋りょう修繕(塗装塗替)
線) 橋りょう補修事業(補修設計)
線) 橋りょう補修事業(補修設計)
線) 橋りょう補修事業(塗装塗替)
災害防除(測量設計)(W=5m, L=15m)
災害防除(測量設計・用地取得・財産補償)(W=4.5m, L=25m)
災害防除(詳細設計)(W=5.5m, L=247m)
災害防除(用地取得・財産補償・落石対策工)(W=7.5m, L=10m)
災害防除(大型ブロック工)(W=7.5m, L=30m)
道路環境整備(防草対策工)(L=1600m)
舗装道整備(舗装修繕)(W=7.58m, L=300m)
河川改修(測量設計)
砂防維持修繕(護岸修繕工)
砂防維持修繕(長寿命化計画に基づく修繕)
砂防施設事業(長寿命化計画に基づく修繕)
社会資本整備総合交付金(急傾斜地)事業(擁壁工、物件補償)
社会資本整備総合交付金(急傾斜地)事業(擁壁工、物件補償)
川の再生推進(魚道整備1式)
川の再生推進(魚道整備1式)

令和4年度2月補正予算(国の補正対応分)

〈秩父市〉

路線名等	事業概要
15 国道140号(荒川日野)	交通安全施設整備事業(L=1,720m, W=6.0(12.0)m)
15 国道140号(大連原ロックシェッド)	道路構造物維持事業(むひのり補修)(W=6.5m, L=16m)
15 吉田橋(下小鹿野吉田線)	橋りょう整備事業(L=39.8m, W=4.8(6.7)m)
15 合角ダム	社会資本整備総合交付金(河川)事業(水辺)(砂防堤工等)

〈横瀬町〉

路線名等	事業概要
15 国道299号(横瀬)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=300m, W=6.0(12.0)m)
15 熊谷小川秩父線(横瀬)	交通安全施設整備事業(L=440m, W=7.5(11.0)m)
15 横瀬橋(国道299号)	社会資本整備総合交付金(橋りょう修繕)事業(橋脚補強、落橋防止)
15 花ノ木橋(国道299号)	社会資本整備総合交付金(橋りょう修繕)事業(橋脚補強、落橋防止)

〈皆野町〉

路線名等	事業概要
15 金崎	砂防施設事業(測量設計)
15 桜ヶ谷	砂防施設事業(測量設計)
15 長瀬玉淀自然公園線(三沢)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,840m, W=6.0(10.0)m)

〈長瀬町〉

路線名等	事業概要
15 宿本	急傾斜地崩壊対策事業(測量設計)

〈小鹿野町〉

路線名等	事業概要
15 大垣野	社会資本整備総合交付金(急傾斜地)事業(測量設計)
15 栗師堂	社会資本整備総合交付金(急傾斜地)事業(測量設計)
15 日尾和田	社会資本整備総合交付金(急傾斜地)事業(測量設計)
15 黒海土橋(皆野両神荒川線)	社会資本整備総合交付金(橋りょう修繕)事業(橋脚補強、落橋防止)

〈東秩父村〉

路線名等	事業概要
15 摩利支天沢	砂防施設事業(測量設計)
15 白石	社会資本整備総合交付金(急傾斜地)事業(測量設計)
15 浄蓮寺沢	社会資本整備総合交付金(砂防)事業(測量設計、用地買収、物件補償)
15 上の山	砂防施設事業(測量設計)



県土整備部(西関東連絡道路建設事務所)

令和5年度当初予算

路線名等	事業概要
15 国道140号(長尾根BP)	道路改築事業(L=3,800m, W=8.0(10.5)m)
15 国道140号(大滝トンネル)	道路改築事業(L=2,400m, W=8.0(10.0)m)
15 国道140号(長尾根BP)	道路改築(L=3,800m, W=8.0(10.5)m)
15 国道140号(大滝トンネル)	道路改築(L=2,400m, W=8.0(10.0)m)

令和4年度2月補正予算(国の補正対応分)

路線名等	事業概要
15 国道140号(長尾根BP)	道路改築事業(L=3,800m, W=8.0(10.5)m)
15 国道140号(大滝トンネル)	道路改築事業(L=2,400m, W=6.5(10.0)m)

都市整備部

令和5年度当初予算

路線名等	事業概要
1 秩父ミューズパーク	社会資本整備総合交付金(公園)事業(梅園四阿屋根更新)
2 秩父ミューズパーク	公園等施設整備(公園等建設費)(展望台改修、事務所新築設計等)

林業関係(治山事業)

令和5年度当初予算(秩父市)

箇所名	事業概要
1 栗尾沢(大滝)	土留工
2 定峰(定峰)	杭打工、地すべり調査解析
3 中津川(中津川)	調査測量設計
4 木空神(浦山)	土留工

〈横瀬町〉

箇所名	事業概要
5 生川2(横瀬)	谷止工、護岸工
6 丸山(芦ヶ久保)	谷止工、土留工、水路工
7 三番(横瀬)	調査測量設計

〈皆野町〉

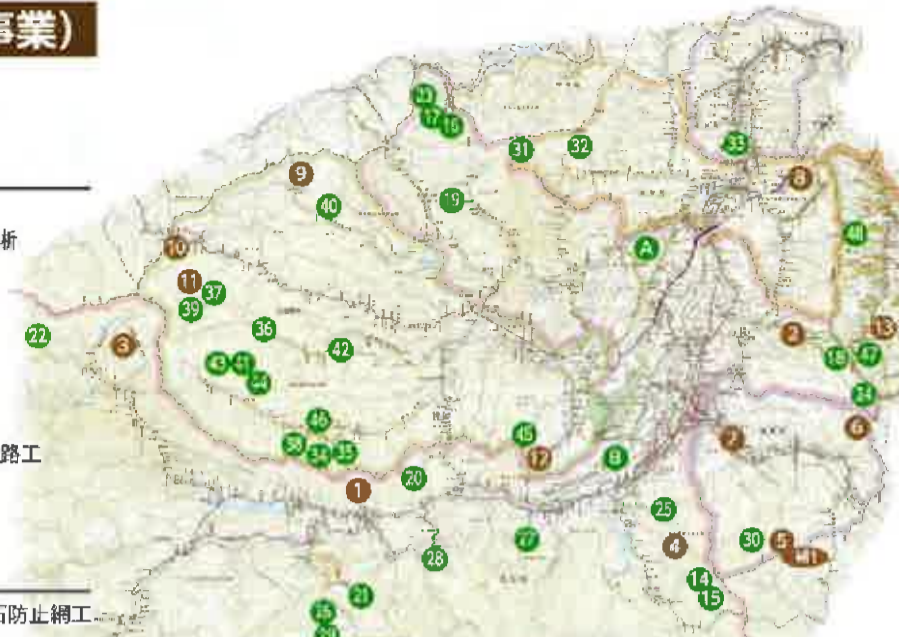
箇所名	事業概要
8 能林(三沢)	落石防護柵工、落石防止柵工

〈小鹿野町〉

箇所名	事業概要
9 大渡沢(藤倉)	谷止工、谷止工修繕
10 志賀坂(河原沢)	谷止工修繕
11 橋詰前山(河原沢)床固工、護岸工	
12 高指沢(般若)	測量設計

〈東秩父村〉

箇所名	事業概要
13 朝日根(岩谷)	流路工



林業関係(森林管理道整備事業)

令和5年度当初予算(秩父市)

箇所名	事業概要
14 広河原逆川線1(浦山)	冠岩橋(橋梁補修L=16m)
15 広河原逆川線2(浦山)	広河原橋(橋梁補修L=35m)
16 太田部峠2号線1(吉田石間)	大久保橋(橋梁補修L=15m)
17 太田部峠2号線2(吉田石間)	権田橋(橋梁補修L=20m)
18 高篠峠線(高篠)	改良L=58m
19 明ヶ平沢戸線(上吉田)	改良L=41m
20 御岳山線(大滝)	改良L=40m
21 大血川線(大滝)	舗装L=40m
22 大山沢線(中津川)	しおじ橋(塗膜調査)
23 太田部峠2号線(吉田石間)	権田橋(塗膜調査)
24 定峰線(定峰)	改良L=74m
25 橋立線(荒川久那)	橋梁修繕設計
26 雲取線(大滝)	橋梁修繕設計
27 熊倉線(荒川日野)	改良L=28m
28 大遠原線(大滝)	舗装L=200m
29 雲取線(大滝)	PCB調査

〈横瀬町〉

箇所名	事業概要
30 二子線(横瀬)	改良L=4m

〈皆野町〉

箇所名	事業概要
31 半納城峠線(上日野沢)	開設L=200m
32 奈良尾線(下日野沢)	舗装L=250m

〈長瀬町〉

箇所名	事業概要
33 葉原線(井戸)	改良L=30m

農業基盤整備事業

令和5年度当初予算(秩父市)

箇所名	事業概要
4 中太田・小社(太田ほか)	以電線事業(組合修繕型)付帯工費
5 弁天池(久那)	農地防災事業(土砂防壁整備)付帯工費(測量設計)



生川復旧治山工事(横瀬町/令和4年度完成)



御岳山2号線(御岳工区)両神小森



小鹿野用水地区(観音工補修、幹線用水路補修)令和4年度完成)県営かんがい排水事業

〈小鹿野町〉

箇所名	事業概要
34 御岳山2号線(御岳工区)(両神小森)	開設L=70m
35 御岳山2号線(地の沢工区)(両神小森)	開設L=120m
36 皆本沼里線(三山)	橋梁修繕設計
37 八日見線(河原沢)	橋梁修繕設計
38 御岳山2号線(両神小森)	改良L=22m
39 八日見線(河原沢)	改良L=24m
40 長久保線線(藤倉)	改良L=30m
41 藤指線(両神薄)	改良L=25m
42 柏沢線(両神薄)	改良L=28m
43 大谷線(両神薄)	改良L=13m
44 日蔭入線(両神薄)	改良L=30m
45 釜の沢伊豆沢線(般若)	橋梁点検
46 高井原線(両神小森)	PCB調査

〈東秩父村〉

箇所名	事業概要
47 荻殿線(白石)	改良L=70m
48 二本木線(坂本)	改良L=64m
49 勝呂入山線(安戸)	舗装L=209m
50 萩平笠山線(御堂)	舗装L=450m

地域の発展をめざし日々全力です!

消防団出初式に出席



横瀬町、小鹿野町、皆野町それぞれの消防団出初式が1月8日に行われました。秩父地域の安心、安全は、消防団員の皆様のご尽力の賜物です!



大澤金作皆野町議会議長(左)、柴崎勉皆野町長(中央)と

長瀬町商工会新春賀詞交換会に出席

1月5日、長瀬町商工会新春賀詞交換会が開催され出席いたしました。



秩父商工会議所新年初顔合わせの会に出席



西村耕一会頭と

1月6日、3年ぶりに新年初顔合わせの会が開催されました。新型コロナウイルス対策に十分配慮した形での開催となりましたが、当所役員・議員・会員の皆様約100名が一堂に集い、お互いに賀詞交換を行いました。



小泉龍司代議士と

尾ノ内氷柱を視察

小鹿野町の冬の観光の目玉、両神山を源流とする尾ノ内溪谷の「尾ノ内氷柱」が今シーズンも1月8日から公開されました。



横瀬町高齢者サロンにて



2月22日、3月7日の両日、横瀬町高齢者サロンに伺いました。皆様とてもお元気で、県政や地域の課題など、様々なご意見をいただきました。

ポピーまつり実行委員会

1月27日に東秩父村でポピーまつり実行委員会があり、令和5年度の開催が決まりました。
■時期: 5月中旬~6月上旬(予定)



昨年度のポピーまつりは5月16日~6月7日にかけて開催されました。

埼玉県議会議員

県政報告

令和5年(2023年)夏号

阿左美けんじ

A S A M I K E N J I

■県議会5月臨時会・6月定例会報告

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
埼玉県議会議員 阿左美健司
〒368-0033 秩父市野坂町1-3-1 野坂ビル3F
TEL.0494-26-7435 FAX.0494-26-7434

URL <https://asami-kenji.com/>

皆さまの負託に応えるため全力で働きます！

先の統一地方選挙を通じて、私たちは県民の皆さまから様々な「声」を頂いてまいりました。この「声」をしっかりと受け止め、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づき、誰もが安心して豊かに暮らせる郷土・埼玉を築いていかなければと決意を新たにしています。

私が所属する自民党議員団は総勢58名でスタートすることとなりました。県議会の過半数を占める最大会派として、その責任を重く感じているところです。また私は今期、警察危機管理防災委員長に就任し、経済・雇用対策特別委員会に所属することになりました。県議団の仲間と力を合わせ、県政の課題に全力で取り組んでまいります。

今後とも皆さまのより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



警察危機管理防災委員長として、6月定例会最終日には本会議場にて委員長報告を行いました(7月7日)。

県議会5月臨時会・6月定例会報告

大型補正予算約183億8千万円を議決

選挙後初となる県議会は5月23・24日に「5月臨時会」が開催され、令和5年度第1号補正予算183億8,387万9千円の計上等を議決しました。また、6月19日からは「6月定例会」が開催され、「埼玉県税条例の一部を改正する条例」などを議決し7月7日に閉会しました。

5月臨時会で議決した第1号補正予算は、国の「物価高克服に向けた追加策」に対応した、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者への支援策です。その概要は右記の通りとなります。

農業者等の免税軽油の利用環境改善へ

6月定例会で議決した「埼玉県税条例の一部を改正する条例」は、主に自動車税(環境性能割)と軽油引取税の改正です。(詳細は下表を参照)

- ①物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援 **46億7,877万8千円**
- ②物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援 **115億4,191万1千円**
- ③物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援 **21億6,319万円**

埼玉県税条例の一部を改正する条例

条例の概要

概要

<自動車税(環境性能割)>

地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率の基となる燃費基準の達成度合いを段階的に引き上げる。

<軽油引取税>

トラクターや掘削機など公道を走らない車両の軽油は、免税を受けることが可能。この免税軽油の使用者のうち農業者等について、軽油購入数量等の報告頻度を緩和する。

○緩和の内容(購入数量が年間3キロリットル以下の場合)

現行		改正案
区分	報告頻度	
発動1年目	毎月	1年に一度
2年目以降	1年に一度	



事務所移転のお知らせ

阿左美健司県政調査事務所を8月1日より移転しました。お近くへお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。

〒368-0033 秩父市野坂町1-3-1 野坂ビル3F
TEL.0494-26-7435/FAX.0494-26-7434
URL <https://asami-kenji.com/>

阿左美健司の活動報告はホームページでもご覧になれます。



シェイクアウト埼玉

県内一斉防災訓練

日時 令和5年9月1日 金11時58分

場所 あなたがいるその場所で



シェイクアウト訓練のあとは

- ・災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用
- ・避難場所の確認
- ・マイタイムラインの作成
- ・避難経路の確認
- ・ハザードマップの確認
- ・避難用品の確認 etc

埼玉県議会 県民生活推進部のホームページをご覧ください

埼玉県立石原広瀬県議会議員が発案。県内初の試みである防災訓練です

所属委員会

警察危機管理防災委員会 (委員長)
経済・雇用対策特別委員会

皆さまのご参加をお願いします。

QRコードを読み込み、参加登録ページからお申し込みください。



埼玉県議会議員

県政報告

令和5年(2023年)秋号

阿左美けんじ

A S A M I

K E N J I

URL <https://asami-kenji.com/>

■県議会9月定例会報告

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
埼玉県議会議員 阿左美健司
〒363-0033 秩父市野坂町1-3-1 野坂ビル3F
TEL.0494-26-7435 FAX.0494-26-7434

■役職 埼玉県議会 自由民主党議員団 幹事 ■所属委員会 警察危機管理防災委員会(委員長)/経済・雇用対策特別委員会

県議会9月定例会報告

補正予算
【第2号】

165億1,057万9千円

コロナ支援継続・重要公共事業の追加・eスポーツ普及へ

県議会9月定例会は9月22日から10月13日にかけて開催され、一般会計補正予算【第2号】165億1,057万9千円の計上等を議決しました。

補正予算の主な内容は、高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続のための予算として69億4,946万6千円、公共事業の追加予算として21億6,345万3千円、企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大のためのイベント開催に要する予算として1,062万9千円など、当面对応すべき事業に対する補正予算が盛り込まれました。

一方、自民党県議団が提案しました「埼玉県虐待禁止条例の一部を改正する条例(案)」については、皆さまからいただいたご意見・ご指摘を真摯に受け止め、10月10日に取り下げを決定いたしました。

今後も県民皆さまの安心・安全実現のために全力で取り組んでまいります。引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



9月定例会では一般質問に立ち8項目18件について、県の施策に対し質問・提言を行いました(10月4日)。2頁にその概要を掲載しておりますので、どうぞ一読いただき県政に対するご意見やご要望等をお寄せください。

シェイクアウト埼玉へのご参加、ありがとうございました。

■実施日:令和5年9月1日 11時58分～ ■参加人数:594,476人

関東大震災から100年を契機に、県議会議員が中心となって県内一斉防災訓練を働きかけることで、県民をはじめ県内在勤・在学の方の「自助」「共助」の意識向上をめざし、シェイクアウト埼玉(埼玉県内一斉防災訓練)を実施させていただきました。多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。



地域の発展と安心・安全の実現に向け全力!!

赤い羽根共同募金活動に参加

県議会社会福祉推進議員連盟は10月3日、赤い羽根共同募金駅頭奉仕活動をJR浦和駅で行いました。



両神山麓花の郷「ダリア園」にて

約1万㎡の敷地に350種類、約5,000株のダリアが咲き誇っていました。写真は地元ボランティアの皆さまと(10月18日)。



自転車道路競走大会に参加

9月3日、第71回秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会が開かれ、開会式とパレードランに参加しました。

警察危機管理防災委員会で東京消防庁を視察



私が委員長を務める警察危機管理防災委員会は8月31日、自然災害に対する先進的な取り組みや対策を学ぶため、葛飾区に設置された東京消防庁即応対応部隊を視察しました。



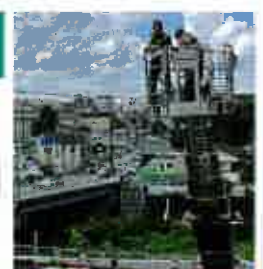
▲横瀬町出身の浅見賢一部隊長(東京消防庁警防部救助課即応対応部隊)と

九都県市合同防災訓練に出席

第44回九都県市合同防災訓練が、8月27日に志木市役所・いろは親水公園等で開催され、警察危機管理防災委員長として出席しました。



▶大野元裕知事と



一般質問報告 (県議会9月定例会 / 令和5年10月4日)

県の施策に対し8項目について **質問 提言**

1 知事の公約について(知事)

(1) DXの新たなフェーズについて～県民へのDXの浸透～

2期目の4年間で具体的にどのようなレベルにしたいと考えているのか質問。知事は「デジタルと人間それぞれに適したタスクを見極め、業務の更なる効率化とサービス向上を目指すタスクトランスフォーメーションを全庁的に浸透させていきたい」と答弁。次に、**市町村のレベルを高めていくための支援策について質問。**知事は「他自治体の先進事例の紹介の他、IT事業者と市町村とのマッチング、国の事業を活用した専門アドバイザーの派遣や交付金の採択など支援を強化していく」と答弁。

(2) 林業の流通整備について

林業・木材産業の諸課題をどのように解決するのか質問。知事は「県産木材・住宅用木材・集成材の3つのサプライチェーンの構築を支援していく。また、森林組合、製材業者、工務店などで構成した協議会を設立し、需要と供給をマッチングできる体制の構築に向け検討を始めた」と答弁。

2 伝統芸能の魅力・継承

(1) 伝統芸能の魅力について(知事)

伝統芸能の魅力を發揮させるためにどのような取り組みが必要か質問。知事は「議員のご意見はたいへん示唆に富んだものと思う」とした上で、「県のこれまでの支援策に加え、今後は伝統芸能の体験という視点も加えて取り組みの充実に努めたい」と答弁。



秩父歌舞伎正和会

(2) 伝統芸能の継承に係る人材の環境づくり(県民生活部長)

参加しやすい環境づくりが必要であり、そのためにはどのような取り組みを行うのか質問。県民生活部長は「『埼玉郷土芸能サポーター制度』への登録団体を増やして気運を高め、参加しやすい環境づくりを進める」と答弁。

3 第75回全国植樹祭について(知事)

今後の実行委員会の総会ではどのような事項を決定するのか質問。知事は「令和6年1月の第4回総会では参加者数などの基本計画やポスターのデザイン原画などについて決定する予定」と答弁。次に、**どのような大会にしていきたいと考えているのか質問。**知事は「大会テーマに沿って、森林・水・木材と私たちの暮らしとの結びつきを再認識し、豊かな森林を次世代へ着実につなげていく契機となる大会にしたい」と答弁。

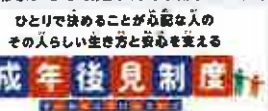


第75回全国植樹祭会場 秩父ミュージアム

4 成年後見制度の利用促進について(福祉部長)

(1) 制度の利用促進のための現状の課題と今後の取組について

中核機関の設置について、どのように取り組んでいくのか質問。福祉部長は「中核機関の職員のスキルアップを図る研修を今年度から実施。県弁護士会等の協力のもと、専門的見地から助言を行う体制の充実も図り、中核機関の機能強化をさらに進める」と答弁。



ひとりで決めることが困難な人の
その人らしい生き方と安心を支える

(2) 法人後見普及のための取組について

法人後見を普及するために県はどのように取り組むのか質問。福祉部長は「『埼玉県成年後見制度利用促進協議会』や7つの地区別協議会に法人後見実施団体も新たに加えて一層の充実を図り、普及に取り組んでいく」と答弁。

5 選挙における一票の重みについて(選挙管理委員会委員長)

より多くの方の投票機会が確保できるよう、郵便等投票の対価範囲を拡大することを国に要望するなど取り組むべきと提言。選挙管理委員長は「これまでも

都道府県選挙管理委員会連合会を通じて国に要望している。引き続き国に要望していく。また市町村選挙管理委員会と連携し、移動が困難な方への支援などにも努めていく」と答弁。

プロフィール



- 1987年 城北埼玉高校卒
- 1991年 明治大学法学部法律学科卒
- 株式会社 キーエンス
- 2005年 東京海上日動火災保険株式会社
- 2010年 株式会社 アシスト
- 2015年 横瀬町議会議員
- 2019年 町議会副議長(2年)
- 2021年 埼玉県議会議員

6 埼玉県水道ビジョンの改定に係る今後の県内水道一本化について(保健医療部長)

県内水道一本化または広域化に向けた各事業体への具体的な働きかけなど、今後の取り組みについて質問。保健医療部長は「まずは資材の共同購入などを提案し、事業体が連携するきっかけをつくっていく。統合に関心の高い事業体をマッチングするなど、新たな検討の場を設けていきたい」と答弁。

7 県北地域、秩父地域の医療体制の強化について

(1) 医療人材の確保について(知事)

具体的にどのような取り組みとなるのか質問。知事は「自治医科大学卒業生の県職員医師としての派遣(4病院14人)の維持に努める。小児二次救急輪番の支援については、今年度は186回派遣する予定。さらに医学生に向けた奨学金制度を充実させ地域医療提供体制の強化につなげるなど、引き続き取り組んでいく」と答弁。

(2) 医療資源の地域偏在、診療科偏在解消に向けた取組について(保健医療部長)

医療資源の地域偏在、診療科偏在解消に向け、医療の広域連携などを検討してもらいたいと提言。保健医療部長は「ICTの活用は医療資源の地域偏在解消に有効と認識しており、今後の動向も注視しながら医療現場の声を踏まえつつ取り組んでいく」と答弁。

(3) 医療体制の強化における県と市町村の関わりについて(保健医療部長)

日頃から市町村が地域医療機関との連携を深めていくべきと提言。保健医療部長は「県では各二次医療圏に医療関係者と市町村の担当課長で構成する『地域医療構想調整会議』を設置しており、同会議において市町村に発言や提案などを求め、主体性が発揮されるよう促していく」と答弁。

8 地元問題(県土整備部長)

(1) 秩父地域の道路整備について

地域の活力を維持していくためには基幹道路や生活を支える身近な道路など、交通環境の充実を図る必要がある。県は今後どのように進めていくのか質問。県土整備部長は「『災害に強い道づくり』『生活の質を高める道づくり』『地域の良さを活かす道づくり』を基本目標に掲げ、土地利用の状況や交通ニーズの変化など地域の実情を的確に把握し取り組んでいく」と答弁。

(2) 国道299号中郷交差点の整備について

現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「これまでに路線測量が完了。令和5年度は現在実施している交差点の設計がまとも次第、地元説明会を実施し用地測量に着手する」と答弁。

(3) 県道長瀬玉淀自然公園線の整備について

現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「北側約0.8kmのバイパス区間については道路や橋りょうの詳細設計が完了し、令和5年度は用地測量を進めている。南側約1kmの現道拡幅区間については用地買収率は99%、残る用地の取得を進めるとともに三沢川の付け替え工事に着手する」と答弁。

(4) 国道140号の歩道整備について

現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「測量設計や用地測量が完了し、令和5年度は現在実施している物件調査が完了次第、用地取得に着手していく」と答弁。

(5) 小鹿野町両神薄の急傾斜地崩壊対策について

現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「地質調査と詳細設計が完了し、今年7月に地元説明会を開催した。今後は必要な用地の寄附を受けた上で、崖下に擁壁を設置するなどの対策工事を順次進めていく」と答弁。

(6) 県道熊谷小川秩父線の整備について

現在の進捗状況と今後の見通しについて質問。県土整備部長は「用地取得が完了し南側86m区間で崖を削り、法面を補強する工事を実施してきた。工事進捗率は61%、令和6年度の完成に向け取り組んでいく」と答弁。

地元から多くの方が傍聴にお越しいただきました。



埼玉県議会議員

県政報告

令和6年(2024年)新春号

阿左美けんじ

A S A M I

K E N J I

URL <https://asami-kenji.com/>

■県議会12月定例会報告

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団
埼玉県議会議員 阿左美健司
〒369-0033 秩父市野坂町1-3-1 野坂ビル3F
TEL.0494-26-7435 FAX.0494-26-7434

県議会
12月
定例会報告

物価高への緊急支援に約115億円 猛暑被害の農家支援に約1億円を議決

県議会12月定例会は12月4日から22日の日程で開催され、一般会計補正予算【第3号】9,688万1千円、【第4号】18億1,140万4千円、【第5号】114億9,715万2千円等を議決しました。

補正予算【第3号】は、令和5年夏の猛暑による水稻、大豆の高温障害を受け、次期作付けにかかる種苗や肥料購入経費を補助するための予算、補正予算【第4号】は、職員給与の改定等に伴う予算が主な内容となっています。

補正予算【第5号】は、物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するため、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づくものです。これまで県が進めてきた福祉・医療施設等への光熱費等の支援やLPガスを使う一般家庭への支援等に加え、トラック運送事業者に対する燃料費の支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減策、ひとり親家庭等の子供の進学への支援等が新たに盛り込まれました。



一般会計 補正予算【第3号】 9,688万1千円	*高温などによる水稻及び大豆の被害への対応(9,676万5千円)など。
一般会計 補正予算【第4号】 18億1,140万4千円	*人事委員会勧告及び報告を踏まえた職員給与の改定等に伴う給与費のため。
一般会計 補正予算【第5号】 114億9,715万2千円	*価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するため、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく補正予算を活用した予算。

《一般会計 補正後累計 2兆2,593億9,489万5千円》

補正予算【第5号】の主な内容

物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援

- ① **再** LPガスを使用する一般消費者等に対する支援…………… **31億8,743万7千円**
LPガス料金の高騰による一般消費者等の負担を軽減するため、販売事業者を通じ、価格高騰の影響分の一部を補助する。<繰越明許費の設定>
- ② **新** 子供の進学等への支援…………… **1,171万5千円**
経済的課題を抱えるひとり親家庭等の子育て世帯について、子供の進学に向けたチャレンジを後押しするため、大学等の受験料や中学・高校3年生の模試費用などの支援を行う市町村に対して補助する。
- ③ **再** 福祉施設、医療施設等に対する支援…………… **36億148万4千円**
光熱費等の高騰の影響を緩和するため、高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、病院、一般診療所、分娩取扱助産所、施術所、私立学校、卸売市場、園芸施設等に対し補助する。
- ④ **新** トラック運送事業者に対する支援…………… **23億2,800万円**
燃料価格の高騰の影響を緩和するため、運送事業者に対し補助する。<繰越明許費の設定>
- ⑤ 地域公共交通事業者に対する支援…………… **1億2,900万円**
燃料価格の高騰の影響を緩和し運行継続を支援するため、乗合バス及びタクシー事業者に対し補助する。
- ⑥ 畜産農家に対する支援…………… **5億1,335万円**
配合飼料価格のうち製造及び流通コストの上昇分の影響を緩和するため、畜産農家に対し補助する。
- ⑦ **新** 県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減…………… **3億489万4千円**
県産農産物の取扱量の増加及び県民の家計負担の軽減を図るため、壘飯店等が行う販売促進キャンペーンに対し補助する。



地域の発展と安心・安全の実現に向け東奔西走

双神トンネルの舗装工事が完了

主要地方道皆野両神荒川線の双神トンネルの舗装工事が終了しました。関係者の皆さんありがとうございました！



▲双神トンネルは昭和18年竣工。埼玉県管理道路では最も古いトンネルの一つです。(トンネル延長:109.9m)

林業対策協議会が知事要望

県内の林業4団体(比企大里地域・西川地域・秩父地域・児玉地域林業対策協議会)による、県知事並びに県議会議長への要望活動が11月6日に行われ、地元選出県議として同席しました。



秩父市消防団特別点検実施

「秩父市消防団特別点検」が11月5日、影森グラウンドで行われました。消防団員皆さんの「自分たちの『まちは自分たちで守る』という強い意志と機動力を実感しました。



さやかのつどい開催



地域の方と障がい者とのふれあいと交流イベント「第22回さやかのつどい」が11月19日に障がい者支援施設さやかで開催されました。利用者の作品・産直品販売、模擬店やバザーなどあり、皆さん楽しそうに交流していました。

▲社会福祉法人清心会さやかグループ前理事長 村山勇治氏(右)と理事長 岡部浩之氏(左)

彩の国食と農林業ドリームフェスタ開催

「2023彩の国食と農林業ドリームフェスタ」が11月25・26日の両日、熊谷スポーツ文化公園で4年ぶりに開催されました。会場では農産物の販売や、ゲーム、アトラクションなど様々なブースが出展。また、彩の国米まつり、美味しさいっぱい畜産フェア、地産地消熊スポマルシェも同時開催され、たいへんな賑わいでした。



▲彩の国森林・林業表彰を受賞され謝辞を述べる小松沢レジャー農園社長の町田恒大氏

皆野町・東秩父村消防団特別点検実施

「皆野町消防団特別点検」及び「東秩父村消防団特別点検」が、11月12日に実施され参観しました。消防車両・機械器具の点検や消防操法競技会、放水訓練などが行われました。



▲柴崎勉皆野町長と



▲東秩父村消防団特別点検の様子

防災学習センターで体験学習

11月11日、横瀬町菊米地区コミュニティの皆さんと防災学習センター(鴻巣市)にて体験学習をしました。



▲地震体験コーナーでは、リアルな地震体験を通して、地震発生時の行動について学びました。

太鼓祭日本一決定戦開催

和太鼓の日本一を決める「太鼓祭2023第15回日本一決定戦」(主催:日本太鼓協会)が12月10日、大宮ソニックシティ大ホールで開催されました。

地方大会で上位に入った団体13組と個人4人が出場し、日本一を目指して豪快な演奏が行われました。



▲日本太鼓協会会長 諏訪幸男氏と

両神ふるさとまつり開催

「第47回小鹿野町両神ふるさとまつり」が11月3日、国民宿舎「両神荘」周辺を会場に4年ぶりに開催されました。特産品販売や民俗芸能大会のほか、演歌歌手の石原詢子さん、岩本公水さんを招いてふるさと音楽祭も行われました。



▲「もみじ」の加藤佳英さんと紅葉の植樹をしました。
▲森貞太郎小鹿野町長(右)と「もみじ」の加藤さん(中央)

尾ノ内溪谷紅葉まつり

小鹿野町尾ノ内溪谷で紅葉まつりが11月4日・5日の両日開催されました。入り口から溪谷に架かる吊り橋まで、いたるところに両神山麓花の郷「ダリア園」で咲き誇っていたダリアの花が飾り付けられ、来場された皆さんの目を楽しませていました。ライトアップでは吊り橋のほかに竹駒も明かりに照らされて幻想的な雰囲気を演出していました。



秩父郡市人権フェスティバル開催

「第21回秩父郡市人権フェスティバル」が10月20日、横瀬町町民会館で開催されました。

小・中学生による人権作文優秀作品の発表や歌手の木山裕策さんによる講演「ガンが教えてくれたこと」などがありました。



秩父市ペタンクジュニア大会開催

「第7回秩父市ペタンクジュニア大会」(主催:秩父市青少年育成協議会)が11月4日、別所運動公園競技場で開催されました。季節はずれの暑さのなか、市内小・中学生34チーム・101名の皆さんが熱戦を繰り広げました。



▲子ども達の笑顔がたくさん見られ、素晴らしい大会となりました。

プロフィール



1987年 城北埼玉高校卒
1991年 明治大学法学部法律学科卒
株式会社 キーエンス
2005年 東京海上日動火災保険株式会社
2010年 株式会社 アシスト
2015年 横瀬町議会議員
2019年 町議会副議長(2年)
2021年 埼玉県議会議員

埼玉県をリードする桜区を目指し、地域の声に全力でお応えします



県立浦和工業高校跡地の利活用を要望

令和8年度より県立大宮工業高校との合併統合が決まっている県立浦和工業高校の在校生の皆さまには、専門性の高い学びの環境を今後もしっかりと確保する必要があります。統合後の学校跡地については周辺地域のご意見として、賑わいの創出を目的に防災拠点

としての機能を包含した活用が挙げられています。この度は地元有志の「中浦和駅北口周辺まちづくり協議会」の役員の方々と共に、所管の埼玉県教育局へ跡地の利活用について要望してまいりました。



都市計画道路・道場三室線(一部区間)が開通!!

3月13日から暫定2車線として開通していたさいたま市都市計画道路・道場三室線(一部区間)が、4月23日に4車線化されました。

市内を東西に結ぶ本都市計画道路は「南与野駅付近～新大宮バイパス」までの1.2km区間であり、今回は一部区間の開通ですが、地域にとって長らく待ち望んだ幹線道路となります。特に桜区内では埼玉大通りや新六間道路がバス通りでもあり、本開通によって慢性的な交通の混雑や渋滞の緩和が見込まれます。

今後も地元のご協力を得ながら市とも連携し、残りの区間とされる新大宮バイパス西側(栄和工区)まで整備し、全線開通に向けて取り組んでまいります。



都市計画道路・道場三室線開通に際し、交通安全祈願をしていただきました(3月13日)。

経済・雇用対策特別委員会 東京都のスタートアップ企業支援の取り組みを視察!

東京都では国内外からスタートアップに関わる様々な団体が集まり、スタートアップ企業への支援を提供する拠点を構築しています。その一環として、国内外からスタートアップ企業やその支援者が集い、交流する一大拠点として昨年オープンした「Tokyo Innovation Base」を視察しました。

埼玉県としても大企業やスタートアップ、大学、自治体など様々な機関が交流し、持続的にイノベーションが創出される取り組みを推進する必要性を強く感じるとともに、県の施策に活かしてまいります。



県政報告 2024年(令和6年)

埼玉県議会議員 荒木 裕介 Yusuke Araki

荒木裕介 Yusuke Araki

■荒木裕介県政調査事務所
〒333-0832 埼玉県さいたま市桜区西橋2-2-10 1階
TEL 048-872-1255
FAX 048-872-1256



mail: yusuke.araki2009@gmail.com

課題に真摯に挑戦する 未来を切り拓く施策として

令和6年度一般会計予算

約2兆1,197億4千万円を計上

平素より埼玉県政に対しましてご理解とご協力に感謝を申し上げます。

また、本年1月1日に発災した能登半島地震によりお亡くなりになられた皆さまのご冥福をお祈りしますとともに、被災された方々に心からのお見舞いを申し上げます。

さて、我が埼玉県は人口減少や少子高齢化への対応、また数十年先を見据えた自然災害などへの対策が喫緊の課題であります。

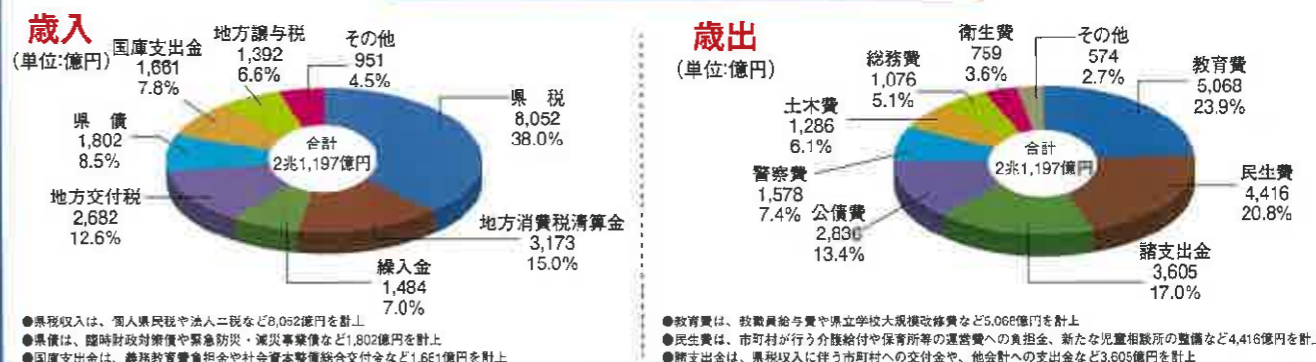
令和5年度末の定例会ではそうした課題に向き合い、防災減災や国土強靱化のための公共事業の追加、農業従事者への支援など、県民の安心安全な暮らしへの令和6年度予算として一般会計2兆1,197億4,400万円、また全会計合計で3兆5,545億2,912万円を計上致しました。

これからも「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け全力で働いてまいります。今後とも、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

埼玉県議会議員 荒木裕介

令和6年度 役職 自由民主党議員団 副団長 所属委員会 議会運営委員会/産業労働企業委員会/自然再生・循環社会対策特別委員会

令和6年度一般会計当初予算



Yusuke Araki

令和6年度の主な施策(抜粋)

令和6年度予算の詳細は、埼玉県のホームページをご参照ください。



～歴史的課題への挑戦 1 人口減少・超少子高齢社会への対応～

1. 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

- 9億1,168万円
デジタルトランスフォーメーションの推進・DX推進事業
全庁GIS基盤搭載業務の拡大、新メタバース空間の整備、新セキュアな生成AI基盤の構築、新ノーコードツールの全庁導入、他
公金収納DXの推進・県有施設等への更なるキャッシュレス化推進事業
県有施設等へのキャッシュレス環境の整備、他
学校教育のデジタル化の推進・電子出願システム導入事業
入学選考における電子出願の実施、入学選考手数料の電子収納の実施
中小企業のDX推進・県内企業デジタルトランスフォーメーション推進
DXを目指す企業へのオーダーメイド型支援、他

2. 持続可能なまちづくりと経済成長の実現

- 26億4,889万円
埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進事業
市町村と企業等のマッチングを行うガバメントピッチの充実(開催回数を2回(最大4日間)に拡充)、市町村と企業等の交流会の充実(開催回数を3回(計3日間)に拡充)、他
埼玉版スーパー・シティプロジェクトを加速させる新たな市町村支援
地域公共交通DX・コンパクト+ネットワーク促進事業
「地域まちづくり計画」に基づく市町村の公共交通分野の取り組みに対する上乗せ補助を行う。
介護基盤整備促進事業
既存の国庫補助事業の補助基準額に加えて、独自に上乗せ補助を実施する市町村に対し新たに補助を行う。
新たな子供支援活動拠点の整備促進事業
子どもの居場所を中心として、多様な主体の交流機能と助け合い機能を付加した子供支援活動拠点を整備する市町村に対し新たに補助を行う。
地域商業活性化支援事業
商店街の空き店舗活用を支援する市町村に対し新たに補助を行う。
既存住宅流通促進事業
市町村の空き家バンクの空き家購入者への改修費補助に対する新たな補助。市町村の空き家バンクの空き家を活用した、地域の活性化に資する取り組みに対する新たな補助。
埼玉版スーパー・シティプロジェクト市町村事業と連動して実施する県事業
スーパー・シティまちづくり支援県道整備事業
県道整備(電線の地中化、スマート交通システム基盤整備、道路ネットワークの構築)
スーパー・シティまちづくり支援事業(水辺deベンチャーチャレンジ)
水辺deベンチャーチャレンジ(河川管理施設や河川敷地など水辺環境を整備)
スーパー・シティまちづくり支援事業(浮きウキカーボンニュートラル)
浮きウキカーボンニュートラル(県管理調節池を活用した太陽光発電設備を設置する市町村を支援するための基盤整備)
地域脱炭素化×エネルギーレジリエンス強化事業
県有施設における再エネ活用設備の導入に係る設計

- 「渋沢栄一起業家サロン(仮称)」イノベーション創出支援事業
サロンの開設準備、スタートアップ起業志望者に対する支援、イノベーション人材の育成、他
「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」の整備
整備事業(3か年継続事業第1年次)
農大跡地活用等推進事業
センターの建設、アグリテックフードテックの促進、他
サーキュラーエコノミーの推進
埋立跡地を活用した資源循環モデル整備事業
新廃棄物処理業者のリサイクル技術高度化支援、埼玉県SDGs官民連携プラットフォームを活用したサーキュラーエコノミーの推進、新サーキュラーエコノミー推進センター埼玉による支援、新サーキュラーデザインリーディングモデル構築支援、新食のサーキュラーエコノミーリーディングモデル構築支援、新サーキュラエコノミービジネスプランコンテストの開催、新資源循環農場・公園の整備、他

3. あんしんしあわせたのしい子ども支援の充実

- 45億7,931万円
子供等の意見を反映した「子どもまんなか社会」推進事業
子ども県政サポーター(仮称)の募集、及び同システムの構築、他
プロスポーツチーム等と連携した「出会いのきっかけづくり」
家族形成に向けた気運の醸成
プロスポーツチーム等と連携した婚活イベントの開催、様々な情報発信、他
子育て世帯の医療費負担の軽減・子ども医療費助成
補助対象の拡大(対象年齢を「通院」は就学前児童から小学校3年生まで、「入院」は就学前児童から中学校3年生までに拡大するとともに所得制限を撤廃)
困難を抱える妊産婦が安心して出産・子育てできるための支援
妊婦緊急一時受入れ事業
安心して生活できる場のない妊婦に緊急一時的な居所を提供
妊産婦等生活援助事業
困難を抱える妊産婦等に生活支援、子育てが困難な妊産婦等に相談支援
保育士の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的取り組みの推進
潜在保育士活躍応援事業

- 潜在保育士に対する情報発信とポータルサイトの構築、他
保育士研修等事業(うち、保育補助者雇上強化事業)
男性の家事・育児参加の促進
男性の育休取得推進事業
企業と連携した男性の家事・育児参加推進事業
男性の育児休業取得の推進、新ハンドブック(仮称)の作成及びセミナーの実施
子どもの居場所づくりの支援
子どもの居場所等地域ネットワーク支援事業
地域における子どもの居場所支援団体育成事業
新たな子供支援活動拠点の整備、新子どもの居場所等地域ネットワークの立上げ支援、新子どもの居場所支援団体の育成
バーチャルユースセンター(仮称)の設置事業
バーチャルユースセンター(仮称)の設置・試験運用
放課後児童クラブの充実・放課後児童クラブ待機児童解消支援事業
待機児童解消のための緊急対策、待機児童対策検討のための調査・研究
児童虐待防止対策の強化
子供の見守り支援事業
課題を抱える子供や家庭に対する支援を実施する市町村に補助
一時保護所環境改善・機能強化推進事業
社会的養育の充実
子供の意見表明等推進事業
児童養護施設等体制強化事業
里親委託推進事業
児童養護施設等職員の家賃負担軽減事業
権利擁護のための支援体制の整備、新児童養護施設等の人材確保、新乳児院における医療機関連携強化、新里親支援センターの設置、他



～歴史的課題への挑戦 2 激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への強固な備え～

- 災害対応力の底上げと自然災害・新たな感染症への備え
災害対応力強化推進(埼玉版FEMA)
新たなシナリオの作成及び図上訓練、指揮命令権者訓練、他
ドローンを活用した発災初期の情報収集力強化
DXを活用した災害対応力の強化事業
ドローンを活用した災害現場の上空緊急観測の実証実験
ジェンダーの視点による避難所開設・運営の充実強化事業
ジェンダー視点による避難所開設・運営の充実強化、他
埼玉版流域治水対策の推進

- 洪水予報河川の拡大と水位予測モデルの構築、新たな河川管理施設整備に向けた調査・検討、道路整備における雨水貯留施設設置等、他
安全・安心を確保するための道路の維持管理・道路情報強化事業
道路冠水常襲箇所への対策の実施
新たな感染症への備え・新興感染症対策事業費
協定締結医療機関の施設・設備整備支援、新興感染症発生初期の検査実施体制の整備、地域の関係者の連携強化、他



県北と県政をつなぎ、生活の基盤をもっと強固に。

飯塚としひこ

発行
埼玉県議会自由民主党議員団
飯塚俊彦県政調査事務所



Vol.25

〒367-0062 本庄市小島南 2-4-24 TEL 0495-71-6603 FAX 0495-71-6682

県議会2月定例会

皆様の声を県政に活かし持続可能な発展を!!

令和5年度一般会計 超大型予算 2兆2,110億9,500万円を計上

県議会2月定例会(2月20日開会~3月17日閉会)は、令和5年度一般会計当初予算2兆2,110億9,500万円の計上等について審議しました。

私たち自民党県議団は昨年秋、ポストコロナを見据え地域経済の活性化に全力で取り組むべきと政策大綱にまとめ、大野知事に要望してきました。令和5年度当初予算は、私たちの主張が一定程度反映された内容となりました。

長引くコロナ禍に加え、昨年からのロシアによるウクライナ侵攻や円安などによる原油価格・物価高騰は、私たち県民の生活に少しずつ影響をもたらしています。

当初予算は「ポストコロナ元年」を理念として、DX(デジタルトランスフォーメーション)のさらなる推進や中小企業への支援、防災対策の強化などが盛り込まれ、課題の解決や経済対策を進め、県の持続可能な発展につなげていく施策となっています。



県土都市整備委員長として県議会2月定例会最終日には委員長報告を行いました。(3月17日)

パーキング・パーミット制度[※]の導入に合わせ 自民党県議団が条例の改正を提案

私たち自民党県議団はパーキング・パーミット制度の本県での導入に向け、昨年の秋からプロジェクトチームを立ち上げて審議を進め、2月定例会において「埼玉県福祉のまちづくり条例の一部改正」を提案しました。条例では、制度の主旨を県民に分かりやすく告知することをはじめ、実効性のある取り組みを県や事業者等に求めています。



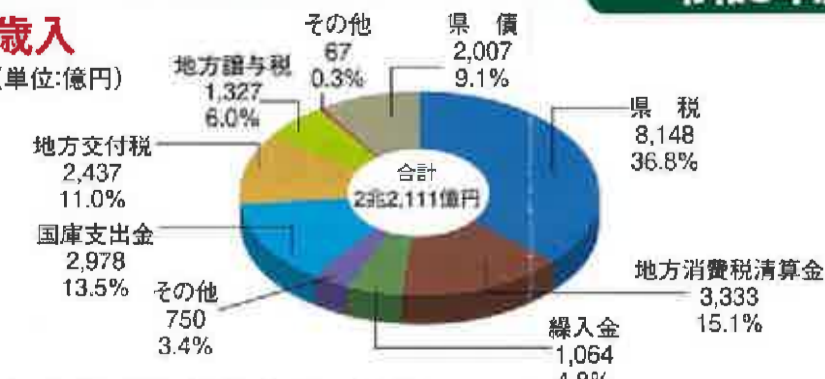
駐車区画整備例(出典:国交省「パーキング・パーミット制度事例集」)

※パーキング・パーミット制度とは、施設設置管理者等の協力のもと、高齢者・障害者等のための駐車施設について、条件に該当する利用対象者に利用証を交付し、適正利用を促す取り組みです。

令和5年度一般会計当初予算

歳入

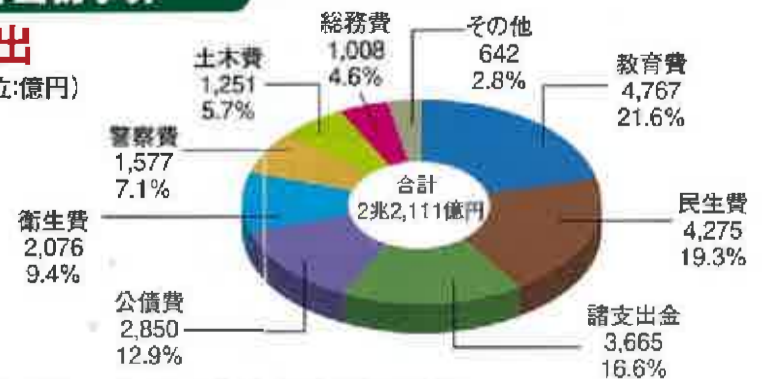
(単位:億円)



●県税収入は、個人県民税や法人二税など8,148億円を計上
●国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金など2,978億円を計上
●県債は、臨時財政対策債など2,007億円を計上

歳出

(単位:億円)



●教育費は、教職員給与費や特別支援学校の施設費など4,767億円を計上
●民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金、新たな児童相談所の整備など4,275億円を計上
●諸支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、他会計への支出金など3,665億円を計上

地域と県政をつなぐ架け橋として 新年度の本庄市・神川町・上里町

県土整備部

令和5年度当初予算 (本庄市)

路線名等	事業内容
1 本庄寄居線(北泉小前)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=200m、W=6.0(18.0)m)
2 下河原橋(長瀬児玉線)	橋りょう架換(L=18.8m、W=6.0(11.0)m)
3 栗崎大橋(本庄寄居線)	橋りょう架換(L=263m、W=6.0(13.0)m)
4 中瀬牧西線(小和瀬)	交通安全施設整備事業(L=25m、W=6.0(9.5)m)
5 国道462号(児玉町児玉)	自転車歩行者道整備(L=365m、W=9.0(16.0)m)
6 前橋長瀬線(児玉町太駄)	自転車歩行者道整備(L=374m、W=7.0(10.5)m)
7 花園本庄線(栗崎)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,197m、W=6.5(15.0)m)
8 栗崎大橋(本庄寄居線)	社会資本整備総合交付金(橋りょう整備)事業(L=263m、W=6.0(13.0)m)
9 国道462号	道路改築(検討業務)
10 本庄寄居線(本町)	道路改築(L=260m、W=6.0(18.0)m)
11 本庄寄居線(新田原)	道路改築(L=230m、W=6.0(18.0)m)
12 花園本庄線(栗崎)	道路改築(L=1,197m、W=6.5(15.0)m)
13 本庄寄居線(けや木)	バリアフリー安全対策(波打ち改善(L=200m))
14 若泉公園橋(国道462号)	橋りょう修繕(耐震補強設計)
15 十間通り陸橋(本庄寄居線)	橋りょう修繕(塗装塗替)
16 金鎖陸橋(国道462号)	橋りょう修繕(橋脚補強)
17 南大通り陸橋(藤岡本庄線)	橋りょう修繕(落橋防止)
18 本庄停車場線(中央)	電柱地中化(道路)整備(支障物移設)
19 本庄妻沼線(鶴森)	道路環境整備(防草対策工(L=800m))
20 国道254号(児玉町児玉)	道路環境整備(防草対策工(L=800m))
21 本庄停車場線(中央)	道路構造物維持事業(支障物移設)
22 勅使河原本庄線(万年寺)	舗装道整備(舗装修繕(W=5.6m、L=300m))
23 藤岡本庄線(見福)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=300m))
24 本庄寄居線(北堀)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.1m、L=500m))
25 秩父児玉線(児玉町太駄)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.7m、L=250m))
26 国道462号(児玉町飯倉)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=300m))
27 勅使河原本庄線(日の出)	舗装道整備(舗装修繕(W=8m、L=300m))
28 元小山川	河川改修(測量設計)
29 小山川	河川改修(堤防強化、測量設計)
30 御陣場川	河川改修(護岸工、測量設計、用地買収)
31 女堀川	河川改修(護岸工、測量設計、用地買収)
32 小山川	砂防維持修繕(土砂撤去)
33 日山沢川	砂防維持修繕(長寿命化計画に基づく修繕)
34 宇津木沢	砂防施設事業(溪流保全工)
35 御厨川	社会資本整備総合交付金(砂防)事業(工所用道路工、用地買収、物件補償)
36 女堀川(北堀)	河川改修(水辺)(河川管理施設修繕)
37 女堀川(児玉町吉田林)	河川改修(水辺)(河川管理施設修繕)

(神川町)

路線名等	事業内容
38 上里鬼石線(新宿)	交差点整備(L=530m、W=9.7(15.5)m)
39 上里鬼石線(植竹)	交通安全施設整備事業(L=460m、W=6.5(12.5)m)
40 児玉新町線(熊野堂)	交通安全施設整備事業(L=110m、W=6.5(12.0)m)
41 上里鬼石線(植竹)	自転車歩行者道整備(L=460m、W=6.5(12.5)m)
42 上里鬼石線(新宿)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=530m、W=9.7(15.5)m)
43 矢納浄法寺線	道路改築(L=1,200m、W=5.5(7.0)m)
44 矢納浄法寺線	災害防除(用地測量・用地取得・財産補償(W=7m、L=60m))
45 吉田太田部譲原線(矢納工区その1)	災害防除(詳細調査・法面保護工(W=7m、L=3,500m))
46 矢納浄法寺線(上阿久原)	舗装道整備(舗装修繕(W=7.5m、L=560m))
47 上里鬼石線(渡瀬)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.3m、L=300m))
48 国道254号(元阿保)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=300m))
49 渡瀬	急傾斜地崩壊対策(土砂防止柵工)

(上里町)

路線名等	事業内容
50 児玉新町線(堤)	交通安全施設整備事業(L=)
51 勅使河原本庄線(金久保)	自転車歩行者道整備(L=)
52 藤岡本庄線(七本木)	自転車歩行者道整備(L=)
53 上里鬼石線	社会資本整備総合交付金
54 藤岡本庄線(長浜)	社会資本整備総合交付金
55 上里鬼石線	道路改築(L=660m、W=1)
56 児玉新町線(三町)	道路環境整備(防草対策)
57 藤岡本庄線(七本木)	舗装道整備(舗装修繕(W=

(美里町)

路線名等	事業内容
58 広木折原線	社会資本整備総合交付金
59 本庄寄居線(阿那志)	交差点整備(L=180m、W=)
60 本庄寄居線(小茂田)	交差点整備(L=45m、W=)
61 本庄寄居線(猪俣)	社会資本整備総合交付金
62 広木折原線	道路改築(L=2,000m、W=)
63 新上宿橋(熊谷児玉線)	橋りょう修繕(落橋防止)
64 宮前橋(熊谷児玉線)	橋りょう修繕(断面修復)
65 熊谷児玉線(関)	道路環境整備(防草対策)
66 本庄寄居線(根木)	舗装道整備(舗装修繕(W=
67 熊谷児玉線(関)	舗装道整備(舗装修繕(W=
68 本庄寄居線(甘粕)	舗装道整備(舗装修繕(W=
69 小山川	河川改修(堤防強化)
70 扮木川	砂防維持修繕(護岸修繕)
71 志戸川	河川改修(河川管理施設)
72 天神川(中里)	河川改修(河川管理施設)
73 天神川(中里)	河川改修(河川管理施設)



上里鬼石線



勅使河原本庄線



藤岡本庄線



令和4年度2月補正予算(国の補正対応分)

路線名等	事業内容
補1 国道462号(児玉町児玉)	交通安全施設整備事業(L=)
補2 元小山川	社会資本整備総合交付金
補3 渡瀬	社会資本整備総合交付金
補4 児玉新町線(堤)	交通安全施設整備事業(L=)
補5 藤岡本庄線(七本木)	社会資本整備総合交付金

TOSHIHIKO IIZUKA

主要な県事業

令和5年度、地元本庄市・神川町・上里町において予算を確保することができました主要な県事業(インフラ整備)をご報告します。

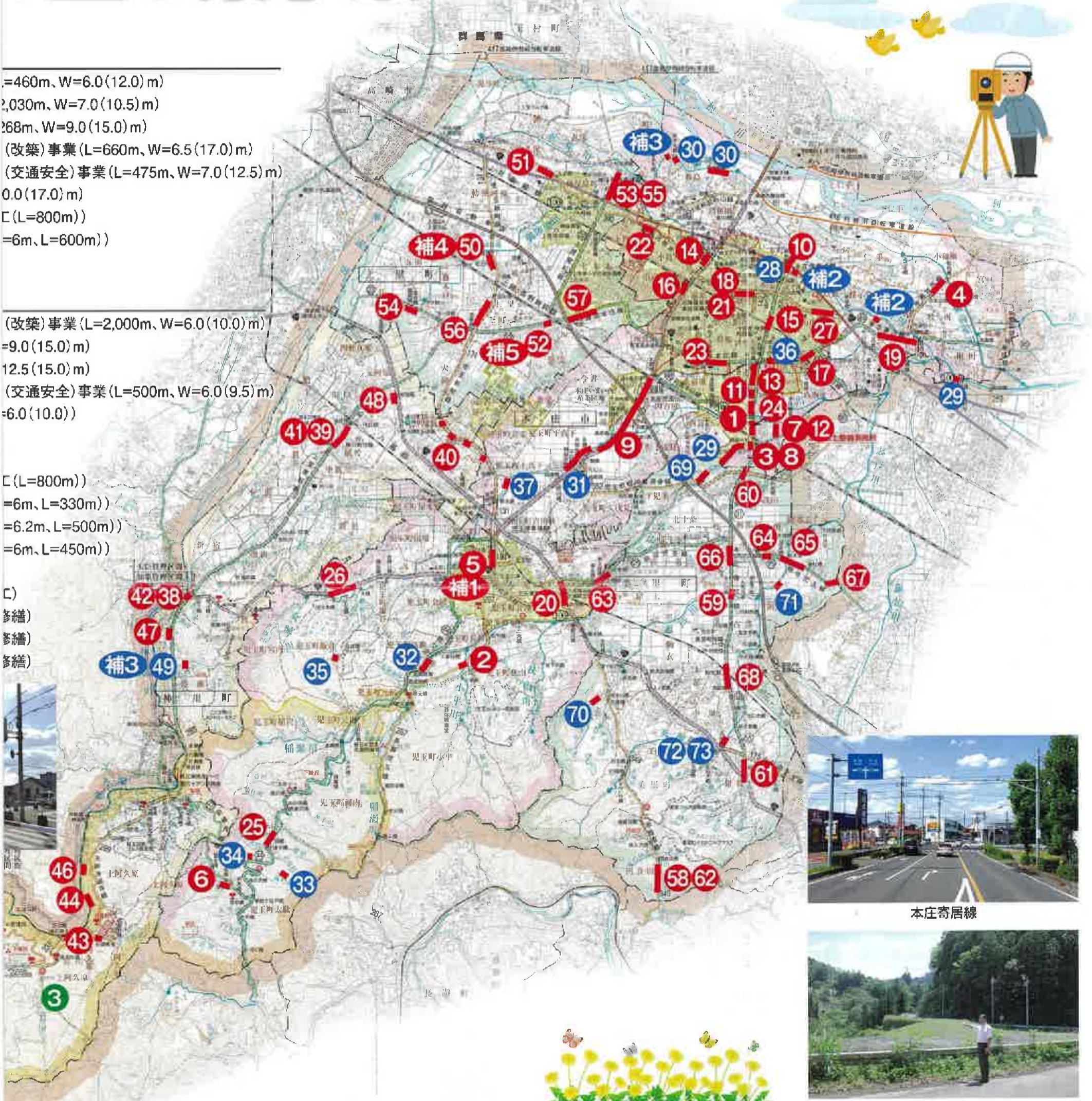
=460m、W=6.0(12.0)m)
 2,030m、W=7.0(10.5)m)
 268m、W=9.0(15.0)m)
 (改築)事業(L=660m、W=6.5(17.0)m)
 (交通安全)事業(L=475m、W=7.0(12.5)m)
 0.0(17.0)m)
 C(L=800m)
 =6m、L=600m))

(改築)事業(L=2,000m、W=6.0(10.0)m)
 =9.0(15.0)m)
 12.5(15.0)m)
 (交通安全)事業(L=500m、W=6.0(9.5)m)
 =6.0(10.0))

C(L=800m)
 =6m、L=330m))
 =6.2m、L=500m))
 =6m、L=450m))

C)
 修繕)
 修繕)
 修繕)

=365m、W=9.0(16.0)m)
 (河川)事業(護岸工、堤防強化、測量設計)
 (急傾斜地)事業(土砂防止柵工)
 =460m、W=6.0(12.0)m)
 (交通安全)事業(L=268m、W=9.0(15.0)m)



本庄寄居線



矢納浄法寺線



女堀川

林業関係事業

令和5年度当初予算

路線名等	事業内容
① 上武秩父線(矢納)	森林管理道整備事業(改良L=100m)
② 城峰2号線(矢納)	森林管理道整備事業(改良L=25m)
③ 江瀬谷線(矢納)	森林管理道整備事業(改良L=150m)
④ 王城線1(矢納)	森林管理道整備事業(改良L=300m)
⑤ 王城線2(矢納)	森林管理道整備事業(改良L=20m)

TOSHIIKOKU IZUKA

令和5年度一般会計当初予算 主な事業について 《抜粋》

社会的課題の解決と経済の両立

1. DXの推進による生産性の向上..... 15億7,445万円

- DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
 - 新たな申請基盤の整備・運用【新規】/全庁GIS基盤の整備・運用【新規】/デジタル関連研修の拡充、ノーコードツールの導入【新規・拡充】等
- インフラ建設管理におけるDXの推進
 - インフラデータ活用基盤の整備【新規】/電子納品保管管理システム開発【新規】等
- 3D都市モデル整備によるデータを活用したまちづくりの推進【新規】
- 建築・住宅行政手続のデジタル化
 - 要件定義業務【新規】/審査環境の整備【新規】等
- 税務行政DXの推進
 - バックオフィス連携による納税証明書の省略化【新規】/税務システム等の更なる機能強化【新規】等
- 入札事務のDX推進
 - 建設工事等入札参加資格申請のオンライン化のためのシステム改修【新規】/電子入札共同システムの再開発【新規】等
- デジタル技術を活用した県民の利便性の向上
 - キャッシュレス収納の環境整備【新規】/立会入型電子契約サービスの導入【新規】等
- 県内中小企業のDX推進
 - 埼玉県DX推進支援ネットワークの機能強化【拡充】/優れたDXの取り組みの表彰・横展開【新規】等



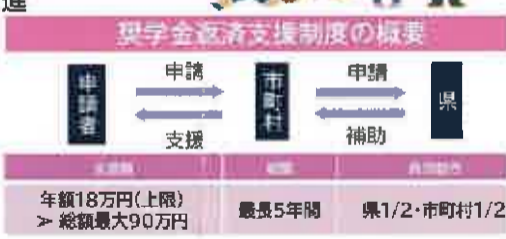
2. 資源のスマートな利用の推進..... 18億8,408.7万円

- 脱炭素社会の実現に向けた中小企業や家庭への支援
 - 家庭・企業等向け省エネ・再エネ活用設備導入に対する補助【拡充】/電動車等導入に対する補助【新規】等
- | | |
|-------|--|
| 家庭向け | 太陽光パネル(7万円/kW)+蓄電池等(10万円/件)、蓄電池等(10万円/件)、エネファーム(10万円/件)等 |
| 企業等向け | 太陽光パネル(5万円/kW)+蓄電池(補助率1/3)等、再エネ活用設備(補助率2/3)、コージェネレーション(補助率1/2) |
- サーキュラーエコノミーの推進
 - サーキュラーエコノミー型ビジネスの創出【新規】、県有大規模集客施設における実証及び啓発【新規】、ワンストップ支援拠点による支援【新規】/リーディ:グモデルの構築【新規】等
 - 埼玉版スーパーシティプロジェクトの推進
 - 市町村と企業等とのマッチングを行うガバメントピッチの開催【新規】/プロジェクトに取り組む市町村への財政支援【拡充】(令和5年度は29市町村が取り組む)等



3. 輝き続ける人材の育成・確保..... 2億3,307.3万円

- 産業人材の育成
 - AI・IoT関連の応用講座の新設【新規】/AI・IoT関連の基礎講座の充実【拡充】等
- 教科等横断的な学びの推進
 - 教科等横断型の教育課程の検討・実践【新規】等
- 医師確保対策の推進
 - 特設WEBサイトの構築【新規】等
- 保育士の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的取り組みの推進
 - 奨学金返済支援制度の創設【新規】等
- 放課後児童クラブの充実
 - 保育士養成校へのアプローチ【新規】等



新型コロナウイルス感染症の拡大防止

新型コロナウイルス感染症対策..... 1,371億8,479.8万円

- 新型コロナウイルス感染症への対応
 - 高齢者支援型臨時施設の確保・運営【拡充】等
- 新型コロナウイルスワクチン接種の推進
 - ワクチンバスの活用【新規】等
- 福祉施設における感染拡大防止対策への支援等の実施
 - 介護施設等における感染拡大防止対策事業費/放課後児童クラブ等に係る新型コロナウイルス感染症対策事業/新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス継続支援事業/高齢者施設リリーフナース事業/感染症り患ケアラー支援対策事業 他



災害・危機に強い埼玉の構築

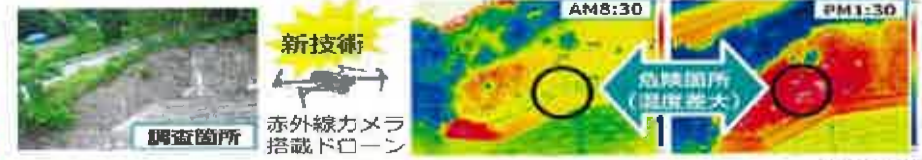
【新規】危機管理・防災対策の再構築 2億7,194万4千円

- ◆災害時における対応能力の強化
 - 現場と本部でのリアルタイムの情報共有・加工能力の強化
 - オペレーションルームの機能の強化
 - 次期災害オペレーション支援システムの基本設計
 - ▶ 全庁GISと連携し迅速かつ正確な情報の発信
- ◆災害時における福祉施設の業務継続支援
 - 業務継続計画(BCP)の策定を伴走型で支援
 - 業務継続を支える施設間の相互協力ネットワークを構築
- ◆災害時連携民間精神科病院の整備
 - 県と民間病院が連携し、被災した精神科病院の入院患者の受入体制を整備
- ◆警察施設の浸水対策の推進
 - 浸水リスクのある電気設備の高上げ・止水板設置
 - ▶ 非常用発動発電機などの浸水被害を防止



【一部新規・拡充】防災関連公共事業の推進 124億8,364万7千円

- ◆埼玉版流域治水対策の継続と深化
 - 河道や調節池の整備、土砂災害対策などを加速化
 - 情報空白地帯への水位計や河川監視カメラ等の新規設置
- ◆ドローンを活用した道路法面点検の実施
 - 赤外線カメラを搭載したドローンで緊急輸送道路の法面の空洞等調査を実施
 - ▶ 危険箇所の早期発見及び予防保全を図る



県北と県政をつなぎ、生活の基盤をもっと強固に。

県議会レポート 2023/夏号

飯塚としひこ

発行
埼玉県議会自由民主党議員団
飯塚俊彦県政調査事務所

Vol.26



〒367-0062 本庄市小島南 2-4-24 TEL 0495-71-6603 FAX 0495-71-6682

皆さまの負託に応えるため 全力で働きます！

先の統一地方選挙を通じて、私たちは県民の皆さまから様々な『お声』をいただいていたりました。この『お声』をしっかりと受け止め、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づき、誰もが安心して豊かに暮らせる郷土・埼玉を築いていかなければと決意を新たにしています。

私が所属する県議会自民党議員団は総勢58名でスタートいたしました。県議会の過半数を占める最大会派として、その責任を重く感じています。

私は今年度、人材育成・文化・スポーツ振興特別委員長に就任し、環境農林常任委員会、図書室委員会に所属することになりました。県議団の仲間と力を合わせ、県政の課題に全力で取り組んでまいります。

今後とも皆さまからのより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



6月25日、本庄市民文化会館にて県政報告会を開催しました。会場には大野知事、古川参議院議員をはじめ地元市町の首長、各議員、そして地域の皆さまが多数お集まりくださいました。(県政報告会の概要は2頁に掲載しております。)

県議会5月臨時会・6月定例会報告

大型補正予算約183億8千万円を議決

選挙後初となる県議会は5月23・24日に「5月臨時会」が開催され、令和5年度第1号補正予算183億8,387万9千円の計上等を議決しました。また、6月19日からは「6月定例会」が開催され、「埼玉県税条例の一部を改正する条例」などを議決し7月7日に閉会しました。

5月臨時会で議決した第1号補正予算は、国の「物価高克服に向けた追加策」に対応した、エネルギー・食料品価格等の物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者への支援策です。その概要は右記の通りとなります。

- ①物価高騰の影響を受ける生活者に対する緊急支援 **46億7,877万8千円**
- ②物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援 **115億4,191万1千円**
- ③物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援 **21億6,319万円**

農業者等の免税軽油の利用環境改善へ

6月定例会で議決した「埼玉県税条例の一部を改正する条例」は、主に自動車税(環境性能割)と軽油引取税の改正です。

自動車税の改正は、原油価格の高騰を受け、県への報告頻度を年1回に簡素化し、より免税軽油が利用しやすい環境とすることで、農業者等の税負担の軽減を図るものです。(詳細は下表を参照)

埼玉県税条例の一部を改正する条例

条例の概要

概要

<自動車税(環境性能割)>

地方税法の一部改正に伴い、環境性能が高い自動車の普及促進を図るため、税率の基となる燃費基準の達成度合いを段階的に引き上げる。

<軽油引取税>

トラクターや掘削機など公道を走らない車両の軽油は、免税を受けることが可能。この免税軽油の利用者のうち**農業者等**について、軽油購入数量等の報告頻度を緩和する。

○緩和の内容(購入数量が年間3キロリットル以下の場合)

現行		→	改正案	
区分	報告頻度		区分	報告頻度
免税1年目	毎月		1年に一度	
2年目以降	1年に一度		1年に一度	



シェイクアウト埼玉

県内一斉防災訓練

参加者募集!

令和5年9月1日(金)11時58分

防災週間(8/30~9/5の間でも実施可能)

あなたがいるその場所で

3つの基本行動をその場で行うだけ!

- 1 まず低く
- 2 頭を守り
- 3 動かない

シェイクアウト訓練とは?

1分程度で終了

シェイクアウト訓練のあとは フラスワン

- 災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用
- 避難場所の確認
- マイタイムラインの作成
- 避難経路の確認
- ハザードマップの確認
- 備蓄品の確認 など

主催 埼玉県議会

QRコードを読み込み、参加登録ページからお申し込みください。
皆さまの「ご参加をお願いします。」

※立石泰広県議会議長が発案。県内初の試みである防災訓練です

TOSHIHIKO IIZUKA

お越しくございました皆さま、ありがとうございました。

県政報告会を盛大に開催

県政報告会を6月25日(日)、本庄市民文化会館にて開催いたしました。

梅雨の合間の暑い一日でしたが、多くの方にお集まりいただき、心より感謝申し上げます。

また、大野元裕知事をはじめ古川俊治参議院議員、吉田信解本庄市長、小島進深谷市長、原田信次美里町長、櫻澤晃神川町長、山下博一上里町長、そして各市議会・町議会の議長及び議員の皆さま、たくさんの方々にご参集賜りましてありがとうございました。

飯塚 俊彦 県政報告会



▲武政恒雄児玉地域会長による御礼挨拶で閉会となりました。

県北の未来を切り拓く政策を報告

私は「魅力ある本庄児玉都市。夢のある埼玉。「あるある」を実現するために」と題して、議員8年間の実績と県北の未来を切り拓くための政策について、以下の内容をご報告させていただきました。

①魅力あふれる県北

- (1)神川町矢納地域の観光促進
- (2)陸船車の庄田門弥などの偉人顕彰

②安心・安全な県北

- (1)埼玉県の南北格差是正
- (2)口腔ケアを推進し、健康増進、医療費削減
- (3)県北部地域と群馬県との医療連携

③流通のかなめ、県北

- (1)国道254バイパスの建設促進
- (2)国道17号バイパスの早期全線開通
- (3)農業用地の有効活用



▲ご報告の前に手話で自己紹介をさせていただきました。

今後とも、県民の安心・安全な暮らしを守る整備・制度づくりに力を入れてまいります。皆さまの声を県政に活かせるよう、全力で頑張っております。



▼大野元裕知事はこの4年間を「怒濤のような日々だった」と振り返りながら、自然災害への対応力の強化やDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進など、現在全庁で取り組んでいる施策について2期目への熱意をもって報告されました。

▲古川俊治参議院議員もかけつけてくださり「市町村と県、そして国との堅く強い絆が重要」と激励をいただきました。



▲飯塚能成会長の開会挨拶

ご挨拶いただきました地元市長・町長の皆さま



■本庄市長 吉田信解 様



■深谷市長 小島進 様



■美里町長 原田信次 様



■神川町長 櫻澤晃 様



■上里町長 山下博一 様

県北と県政をつなぎ、生活の基盤をもっと強固に。

県議会レポート 2023/秋号

飯塚としひこ

発行
埼玉県議会自由民主党議員団
飯塚俊彦県政調査事務所



Vol.27

〒367-0062 本庄市小島南 2-4-24 TEL 0495-71-6603 FAX 0495-71-6682

県議会9月定例会報告

補正予算
【第2号】 **165億1,057万9千円**

コロナ支援継続・重要公共事業の追加・eスポーツ普及へ

県議会9月定例会は9月22日から10月13日にかけて開催され、一般会計補正予算【第2号】165億1,057万9千円の計上等を議決しました。

補正予算の主な内容は、高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続のための予算として69億4,946万6千円、重要な公共事業の追加予算として21億6,345万3千円、企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大のためのイベント開催に要する予算として1,062万9千円など、当面对応すべき事業に対する補正予算が盛り込まれました。



役員

自由民主党議員団 政務調査会 環境農林部会長

所属委員会

環境農林委員会
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会 (委員長)
図書室委員会

県全域で約59万人が参加し大成功!!

シェイクアウト埼玉へのご参加、ありがとうございました。

■実施日:令和5年9月1日 11時58分～ ■参加人数:594,476人
《本庄市:11,453人 神川町:255人 上里町:432人 美里町:957人》

関東大震災から100年を契機に、県議会が中心となって県内一斉防災訓練を働きかけることで、県民をはじめ県内在勤・在学の方の「自助」「共助」の意識向上をめざし、シェイクアウト埼玉(埼玉県内一斉防災訓練)を実施させていただきました。多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。



Featuring FORTNITE 県北高校生大会開催

県北部地域の高校生がeスポーツで競い合う「第1回 Featuring FORTNITE 県北高校生大会inふかや花園」が8月19日、深谷テラスパークで開催されました。

観客がモニターで見守る中、5組10名の高校生達が「FORTNITE (フォートナイト)」で熱いバトルを繰り広げました。競技終了後には、一般の方も参加できる体験会も行われ、eスポーツの興奮を体感していました。また深谷テラスパークでは「超学園祭 in 深谷」も同時開催され、大人も子供も楽しめるイベントが繰り広げられ、私も楽しませていただきました。



▲深谷テラスパークでは「超学園祭 in 深谷」が同時開催され賑わっていました。



全部で3マッチ行われ、全ての試合で圧倒的な強さを誇ったチームXが優勝しました。

T O S H I H I K O I I Z U K A

「防災」「健康増進」「魅力発信」「地域振興」等をテーマに 小島南自治会役員が知事と対談

9月25日、小島南自治会役員(鳥羽孝夫会長)が大野元裕知事と、「防災」「健康増進」「魅力発信」「地域振興」などをテーマに対談しました。

本庄ケーブルテレビの特別企画として年1回行っているもので、鳥羽孝夫会長、佐々木喜美副会長、伊藤啓一副会長らは、「緊急安否確認システム※」をはじめとする自治会独自の取り組みについて知事に説明するとともに、県の防災、健康増進、地域振興などに関する取り組みについて意見交換を行いました。



▲写真右から大野元裕知事、鳥羽孝夫会長、佐々木喜美副会長、伊藤啓一副会長、私、Meyouさん(シンガーソングライター)。(写真提供:本庄経済新聞)



▲鳥羽会長は、自治会独自で開発した「緊急安否確認システム※」、脳活アプリ「元気だよ!通信」、電子回覧板などについて説明。知事からは、県民の防災意識と「地域防災力向上」のための「イツモ防災」と「ミナナ防災」について説明していただきました。(写真提供:本庄経済新聞)

小島南自治会で「防災訓練&健康フェア」開催

小島南自治会は10月15日、本庄市の吉田信解市長、県危機管理防災部の澁澤陽平副部長、児玉郡市広域消防本部中央消防署の横山和幸署長らを引き「小島南ふれあい防災訓練&健康フェア」を開催しました。

会場の小島南自治会館には住民ら約150人が参加。「中越市民防災安全士会」の女性部による「災害食講座」をはじめ、「本庄市自治会ドローンクラブ」によるドローンを活用したまちづくり実証実験の報告、災害時に役立つ「緊急安否確認システム」の実証訓練披露などが行われました。



▲「中越市民防災安全士会」女性部の石黒みち子さん、星野祥子さん、中島栄さんが災害時でも少ない水で調理できる「バッククッキング」について実演。災害食を試食した吉田市長は「災害時に食べられれば、ごちそうだと思う」と感想を述べられていました。同会は「中越市民防災安全大学」の卒業生有志が、継続的な防災知識の習得と地域での防災活動での実践につなげるため平成19年に結成。今年9月には「令和5年度防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。



▲「小島南ふれあい防災訓練&健康フェア」の様子は本庄経済新聞をはじめNHKニュースやYahoo!ニュースで取り上げられ、全国で紹介されました。(写真提供:本庄経済新聞)



※小島南自治会が独自に取り組む「緊急安否確認システム」とは、大規模災害時に住民の安否を確認するシステムとして同自治会DX推進担当の岩崎明さんが開発。スマートフォン等で専用二次元コードを読み取るとアプリで「無事」や「避難済み」といった情報を送信することができ、送信者の居場所も地図上に表示されるようになっています。警戒レベル3以上の発令時、自治会対策本部がシステムを起動することになっています。

関東大震災朝鮮人追悼慰霊祭に参列

関東大震災から100年を迎えた9月1日、デマを信じた自警団などに虐殺された朝鮮人らを追悼する式典が、慰霊碑が建つ長峰墓地で開催され参列しました。

吉田信解市長は「痛恨の思いとともに、犠牲者の御霊に追悼の誠を捧げる。天災を引き金にした人災は、どうしても避けねばならない。人と人が信頼し合う真に災害に強い地域社会をつくることを厳粛に誓う」と述べ、犠牲となった方々を追悼しました。

とても痛ましい事件ですが、史事として受け止め、二度と同じようなことが起きないように、しっかり次の世代に伝えていくことの大切さを改めて感じました。



埼玉県虐待禁止条例の一部を改正する条例(案)について

この度、9月定例会に私ども自民党議員団から提案しました「埼玉県虐待禁止条例の一部を改正する条例(案)」につきまして、諸般の事情により取り下げさせていただきます。

私どもの議案提案の趣旨「子供の安全を守るという理念」は、多くの県民の皆様のご理解を得られるものと考えております。私どもといたしましては、日本における子供を放置している状況を再認識し、ご家庭での子育てのオペレーションを一考いただく機会となるとの思いから協議を進め、提案に至りました。

しかしながら、私どもの言葉足らずにより、県民の皆様はもとより全国的に不安と心配の声が広がり、多くの県民・団体等により、県議会に対し様々なご意見を頂戴いたしました。条例が運用されるに当たっては、その趣旨が十分に理解され、広く社会に受け入れられた上で、社会全体として子供の安全を守るという機運につながる事が重要です。こうした観点から、本議案は取り下げさせていただきます。

今後とも県政に全力で取り組んでまいります。皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。 埼玉県議会議員 飯塚 俊彦

県北と県政をつなぎ、生活の基盤をもっと強固に。

県議会レポート 2024/新春号

飯塚としひこ

発行
埼玉県議会自由民主党議員団
飯塚俊彦県政調査事務所

Vol.28



〒367-0062 本庄市小島南 2-4-24 TEL 0495-71-6603 FAX 0495-71-6682

能登半島地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

県政並びに地域の課題に日々全力投球!!

環境農林委員会視察 鳥取県の先進事例について学んできました。

環境農林委員会は11月20日・21日の両日、鳥取県の先進事例を視察してきました。

20日に訪問したトゥリーアンドノーフ(株)では、科学的視点を重視した土作り・肥料設計を行い、環境負荷軽減のため化学合成農薬・化学合成肥料の使用をできるだけ控え、飼料用米や大豆、飼料用トウモロコシを栽培。またYouTubeチャンネル「農業法人トゥリーアンドノーフ」を立ち上げ、情報発信を行うなどの取り組みを進めています。本県でも農業経営の改善・強化が課題となっています。今後の施策の参考になりました。

21日は江府町の奥大山自然塾を訪問しました。同塾は脚本家倉本聰氏が主宰するNPO法人富良野自然塾の、全国で7番目となる分校として開校。町をあげて環境学習に取り組んでいる内容を詳細に知ることができ、本県での環境学習推進の参考になりました。



▲奥大山自然塾は地球環境について学ぶことができる体験型自然塾として令和5年5月に開校しました。



▲トゥリーアンドノーフ株式会社は高い生産性が持続可能性を高めるという考えの元に、規模拡大や科学的視点に立った農業経営、環境負荷軽減・バイオテクノロジー等の技術の積極的な活用に取り組んでいます。

本庄市議会特別委が県に対し要望活動



本庄市議会17号本庄道路及び幹線道路整備対策特別委員会による県への要望活動が12月5日に行われ、地元選出県議として同席しました。

【要望内容は次の通りです】

- ①県が1/3の財政負担をしている国道17号本庄道路の整備促進と取り付け道路の本庄寄居線の本庄道路までの延伸についての着実な整備。
- ②小山川に架かる橋の建設が進む、県北の発展に欠かせない花園本庄線の早期開通に向けての整備促進。
- ③県が管理する国道462号について、本庄児玉IC以南の4車線化に向け交通量の調査費がついたことを歓迎しつつ更なる整備促進を。
- ④藤岡市、神川町、本庄市を結ぶ国道254号について、藤武橋の渋滞解消に向けた地元の新たなバイパス構想の推進に支援を。

▶私も市議会議員の時代から取り組んできた課題です。対応された県土整備部長はじめ県職員の皆さんに本庄市の道路交通網の課題について説明させていただきました。



埴保己一賞表彰式開催

第17回埴保己一賞表彰式が12月16日、児玉文化会館セルディで開催されました。表彰された方は次の通りです。

- 大賞(社会的に顕著な活躍をしてきた障害のある個人)
岩田 美津子 氏:視覚障害(全盲)。NPO法人てんやく絵本ふれあい文庫代表。点字つき絵本の出版と普及を考える会代表。
- 奨励賞(今後さらに社会的な活躍が期待される60歳未満の障害のある個人)
守田 稔 氏:視覚障害(全盲)、肢体不自由。精神科医。
- 貢献賞(社会的に顕著な障害者支援活動等を行った個人・団体)
高橋 りく 氏:現代美術アーティスト。東京造形大学彫刻科卒。一般社団法人世界ダイバーシティアート学会代表理事。マリスアートプロジェクト代表。



知事が沖電気工業本庄工場を視察

12月1日、大野元裕知事が「ふれあい訪問」で沖電気工業本庄工場を視察され、同行しました。

沖電気工業本庄工場は、建物で使うエネルギー消費量を実質ゼロにする「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)」の認証について、生産工場として国内初取得を実現するなど、「地域社会と共存し、災害に強く、環境負荷低減に配慮したレジリエンスなスマート工場」というコンセプトが高く評価されています。



▲ZEB認証を受けた最先端の工場として、一般の方の見学を受け入れています。

オリンピック・パラリンピック・デフリンピック議連に名称変更



私が参加している「埼玉県議会オリンピック・パラリンピック応援議員連盟」は12月12日に総会を行い、2025年に日本で初めて開催される「デフリンピック※」を応援するため、「埼玉県議会オリンピック・パラリンピック・デフリンピック応援議員連盟」に名称の変更を参加議員の総意で決めました。

総会には埼玉県聴覚障害者協会の方をお招きし、デフリンピックについて説明をしていただきました。少しでも多くの方にデフリンピックについて関心を持っていただけるよう、応援議連としても全力で取り組んでまいります。

▲森本真敏選手(陸上競技 ハンマー投げ/令和4年当時本庄市在住)は、2009年の第21回夏季デフリンピック(台北)で金メダルを獲得。2022年の第24回夏季デフリンピック(ブラジル)では銀メダルを獲得し、令和4年6月9日に県議をを表彰訪問されました。



▲埼玉県議会オリンピック・パラリンピック・デフリンピック応援議員連盟のメンバー

※デフリンピックは国際的なろう者のためのオリンピックです。4年に1度、夏季大会と冬季大会が開催され、2025年には日本で初めて開催されます。詳しくは一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会のホームページをご覧ください。
<https://www.jfd.or.jp/sc/deaflympics>



TOSHIHIKO IIZUKA

県議会
12月
定例会報告

物価高への緊急支援に約115億円 猛暑被害の農家支援に約1億円を議決

県議会12月定例会は12月4日から22日の日程で開催され、一般会計補正予算【第3号】9,688万1千円、【第4号】18億1,140万4千円、【第5号】114億9,715万2千円等を議決しました。

補正予算【第3号】は、令和5年夏の猛暑による水稲、大豆の高温障害を受け、次期作付けにかかる種苗や肥料購入経費を補助するための予算、補正予算【第4号】は、職員給与の改定等に伴う予算が主な内容となっています。

補正予算【第5号】は、物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するための、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づくものです。これまで県が進めてきた福祉・医療施設等への光熱費等の支援やLPガスを使う一般家庭への支援等に加え、トラック運送事業者に対する燃料費の支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減策、ひとり親家庭の子供の進学等への支援等が新たに盛り込まれました。



▲大野知事とは連携を密に、県政から地元の課題までともに取り組んでいます。

役職

自由民主党議員団 政務調査会 環境農林部長

所属委員会

環境農林委員会

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会(委員長)・図書室委員会

補正予算【第3号】の主な内容

高温などによる水稲及び大豆の被害への対応

9,676万5千円

令和5年夏の気象概況

- 6~9月の平均気温が観測史上最高となる異常な高温
- 県内の一部では7月の降水量が観測史上最少
- 高温や干ばつによる県内農作物への甚大な被害が発生
→農業災害対策特別措置条例に基づく特別災害に指定(令和5年11月21日)



県内の農作物の被害状況

水稲:高温の影響で米の粒の一部が白くなる白未熟粒の米が発生
被害面積:1,221ha(速報値)



正常粒 白未熟粒
(農林水産省HP検査用語の解説より)

大豆:高温・干ばつの影響で十分に成熟しない豆が発生
被害面積:307ha(速報値)



正常さや 不稔さや

補助内容等

次期作付けに係る経費を支援する市町村に対して補助

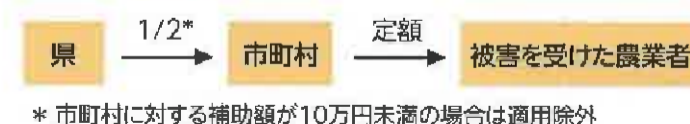
- 支援対象:高温・干ばつにより被害を受けた農業者
- 補助対象:種苗、肥料購入経費
- 事業主体:市町村
- 負担区分:県1/2、市町村1/2



対象地区

県内全市町村(高温・干ばつの影響で被害を受けた地域)

事業スキーム



補正予算【第4号】の主な内容

18億1,140万4千円

人事委員会勧告及び報告を踏まえた職員給与の改定等に伴う給与費のため。

補正予算【第5号】の主な内容

- (1)物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援…………… 90億8,017万6千円
- (2)物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援…………… 21億6,517万6千円
- (3)その他…………… 2億5,180万円

(1)物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援

- ①LPガスを使用する一般消費者等に対する支援…………… 31億8,743万7千円
LPガス料金の高騰による一般消費者等の負担を軽減するため、販売事業者を通じ、価格高騰の影響の一部を補助する。<繰越明許費の設定>
- ②新子供の進学等への支援…………… 1,171万5千円
経済的課題を抱えるひとり親家庭等の子育て世帯について、子供の進学に向けたチャレンジを後押しするため、大学等の受験料や中学・高校3年生の模試費用などの支援を行う市町村に対して補助する。
- ③福祉施設、医療施設等に対する支援…………… 36億148万4千円
光熱費等の高騰の影響を緩和するため、高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、病院、一般診療所、分娩取次助産所、施療所、私立学校、卸売市場、園芸施設等に対し補助する。
- ④新トラック運送事業者に対する支援…………… 23億2,800万円
燃料価格の高騰の影響を緩和するため、運送事業者に対し補助する。<繰越明許費の設定>
- ⑤地域公共交通事業者に対する支援…………… 1億2,900万円
燃料価格の高騰の影響を緩和し運行継続を支援するため、乗合バス及びタクシー事業者に対し補助する。
- ⑥畜産農家に対する支援…………… 5億1,335万円
配合飼料価格のうち製造及び流通コストの上昇の影響を緩和するため、畜産農家に対し補助する。
- ⑦新県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減…………… 3億489万4千円
県産農産物の取扱量の増加及び県民の家計負担の軽減を図るため、量販店等が行う販売促進キャンペーンに対し補助する。

(2)物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援

- ①中小企業等における原材料の転換等の支援…………… 5億1,842万6千円
原材料価格の高騰を踏まえ、原材料の転換や使用量削減による経営体質改善を更に促すため、専門家や認定支援機関の助言に基づき中小企業等が実施する設備投資や製品開発等に要する経費を補助する。<繰越明許費の設定>
- ②中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への支援…………… 14億円
中小企業等におけるエネルギー使用量及びCO₂排出量の削減による体質改善を更に促すため、空調設備・ボイラー等の更新及び蓄電池と組み合わせた太陽光発電設備等の導入経費を補助する。<繰越明許費の設定>
- ③新施設園芸農家の省エネ転換への支援…………… 2億4,675万円
燃料価格の高騰の影響を受けにくい省エネ型施設園芸への転換を促進するため、施設園芸農家に対して、ヒートポンプなどの省エネ機器や資材の導入経費を補助する。<繰越明許費の設定>

(3)その他

- ①農業収益力向上への支援…………… 2億1,000万円
競争力のある園芸作物産地を形成するため、収益力向上に計画的に取り組む農業者に対して、生産技術高度化のための施設整備に要する経費を補助する。<繰越明許費の設定>
- ②障害児のプライバシー保護や支援体制の整備…………… 4,180万円
障害児通所支援事業所におけるプライバシー保護等を図るため、パーテーションや簡易更衣室などの導入に要する経費を補助するとともに、地域における障害児の支援体制を強化するため、市町村への助言等を行う支援員を設置する。



情熱 責任
真摯 覚悟

埼玉県議会議員

宇田川 ゆきお

県政報告

令和6年 2月3日発行 早春号 Vol.22

発行:埼玉県議会自由民主党議員区 宇田川ゆきお県政事務所 〒340-0301 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055 FAX.048-934-7099



宇田川ゆきお県議 巻頭所感

3期目・想いも新たに! 地域の未来に全力を尽くす。

令和6年能登半島地震で亡くなられた方にお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は県議会議員として3期目の歩みを進めさせて頂きました。これまでも、大山忍八潮市長と連携しながら八潮市の交通網の整備による地域経済の発展をはじめ、私自身も当事者でもある子育て、産前産後ケアや教育等について

提言をしてまいりました。お陰様で少しずつカタチが見えてきたものもあります。

3期目はこれまでの政策をさらに前に進めながら、様々な課題について多くの県民の皆様のご意見やお知恵を賜りつつ、明るい未来を切り開くべく精進を重ね全力を尽くしていく決意です。

これまで得た経験と
先を見据えた政策で
さらに活発な活動を!

地方自治の基本的な役割は「市民の安心と安全を担保すること」だといえま

す。予測不可能なさまざまな災害に対して、事前事後の対策を講じることが市民の信頼を得ることにつながります。

八潮市は、本年より新庁舎の供用を開始しました。新庁舎は市民の皆様が行政にアクセスしやすい環境整備がなされ、市民の皆様同士もつながるサークルを意識されたものとなっています。防災機能を高めた、災害に強いまちづくりの拠点です。新庁舎が、新しい八潮市の象徴となり皆様に親しまれることを期待しています。

八潮市は市域全体が平坦で有り、中川・綾瀬川等の流域であることから「水」との戦いが繰り返されてきました。多くの言い伝えの中にも苦難の連続だったことがうかがわれ、都市化の進展と共に浸水被害を防止するための遊水池の整備や排水機能の強化が求められています。

まちづくりを進めるにあたって安心・安全を基調にしながら「夢」を描くことが必要です。それはさらに住みよいまちを目指して夢を追いかけることです。

八潮市には外環道八潮パーキングエリア、八條橋渋滞解消、大場川新橋構想、公共施設跡地利用、スポーツ・文化施設の充実、そして地下鉄8号線の整備着手などのハード面での夢が有り、高齢者対策、

【2面に続きます】



大山しのぶ市長と八潮の未来のため力を合わせる



宇田川 ゆきお、3期目を

宇田川ゆきおは、引き続き、現場を歩き、見て、対話をし、実情に触れ、人口減少・超少子高齢化社会や自然災害、物価高騰対策、地域経済

子育て世代支援、特色ある教育の推進、健康管理施設の充実などソフト面での夢もあります。

市・県・国が連携し、これらの課題を解決

し、夢を実現していくことが私・宇田川ゆきおの使命です。今後も大山忍市長としっかりとタッグを組み、大野知事とスクラムを組んで、埼玉県そして「住みやすさナンバー

1のまち八潮」のために全身全霊を捧げる覚悟です。

埼玉県議会議員 **宇田川幸夫**

子育てしやすい社会へ向けて意見交換



宇田川ゆきお県議は、産前産後ケアや子育て支援について、かねてより力を注ぎてまいりました。さらに深掘りした政策を打ち出せるよう、さら助産院(代表 助産師

直井亜紀院長)にご協力をいただき、現場からの声を伺いました。直井先生、さら助産院を利用されているママの皆様と県議、市議との間で、日々感じていらっしゃるこ

とや、現状の課題について、今後のあり方や方向性について有意義な意見交換をさせていただきました。

産前産後の制度について、フラットで使いやすいものにできるように、また、ママ友のみならずパパ友との交流やパパ事業の復活などお互いに理解をしながらコミュニケーションをとる重要性を再認識した、大変に有意義な会となりました。

産前産後、子育てを通じて母親が社会から取り残されないように、また、子育て中の方々が安心できる社会になるように今後も提言をし、カタチにできるよう、これからも全力を尽くしてまいります。



県議会の経済・雇用対策特別委員長として視察!

DXの最新の活用例、従業

北陸先端科学技術 大学院大学を視察

北陸先端科学技術大学院大学は、2023年4月、ヘルスケア・医療分野のDXとバイオメディカルイノベーションを推進する「超越バイオメディカルDX拠点」を開設しています。同施設は、技術や知識をシェアして共創する「シェアードオープンイノベーション」という新しい考え方に基づき、オープンラボを備え、幅広い知見や技術を有する多種多様な業種・業界との交流を推進しています。スーパーコンピューターを活用したデータの駆動型のDXを組み合わせ、がんをはじめとする様々な疾病の超早期診断、創薬ツールなど、医療・ヘルスケア・メディカルなどに関わる広い分野のイノベーションを目指しています。

埼玉県においては、県内産業の持続的な成長と県民生活の質の向上につながる科学技術・イノベーションの創出の振興が課題となっています。このことから、先端産業の創出における参考として、この視察を通じて得た知見を活かし、活動してまいります。



石川樹脂工業 株式会社を視察

石川樹脂株
させた新食器
す。これは、高
た「環境にやさしい新素材」を使用しているのが特徴
動化を図ることで、技能実習生頼みから脱却し、労働
3Dデジタル技術の習得、自社の工程にあったロボッ
うにするための従業員のリスクリングが鍵でした。

埼玉県内の中小企業のDX推進のため、企業における従業員のリスクリングの課題に対する参考例として視察を行いました。従業員のリスクリングを行うことで自社ブランドの創出や生産性の向上をなした成功事例を視察することで、埼玉県においてもこのような事例が多く生み出せるよう提案してまいります。

と迎えてさらにパワーアップ

「現場主義」を貫きます。現場の声と理論を組み合わせ、実効性のある政策立案をし、の発展など多くの課題に、皆様の声を集約し、皆様の期待に応えてまいります。

9月定例会のご報告

自民党県議団の提言により一歩前進！ 子ども医療費の助成拡大へ

こどもの医療費を無料にする県の助成制度を拡大。通院は小学3年、入院は中学3年まで

～県内の子育て支援の拡充と

市町村の財政負担の軽減へ～

自民党県議団は、子ども医療費の県による助成の拡充にこれまで取り組んでまいりました。そして、9月定例議会において、自民党県議団の浅井明議員の一般質問に対する答弁にて、大野知事は28日、子どもの医療費を無料にする県の助成制度について、未就学児までとする対象を来年度から拡大し、通院は小学3年、入院は中学3年までとする方針を明らかにしました。また、

所得制限も撤廃する考えを示しました。

子どもの医療費は、すでに全63市町村が中学3年までを無料にしています。県が対象を拡大することで市町村の財政負担を軽減し、子育て支援策の拡充を後押しとなります。これまでの取組みが一歩前進いたしました。これからも埼玉県の子育てのしやすい環境づくりに邁進してまいります。

9月議会補正予算
165億1,057万9千円

昨年9月の補正予算では下記が決定しています。令和6年の本予算に向けて、宇田川ゆきおは、皆様からの要望をかたちにするため、さらに、努力をして参ります。

■高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続

大場川マリーナにて



感染が発生した場合の高齢者・障害者施設等のサービス提供体制を維持するため、引き続き人員確保や衛生用品などのかかり増し経費に対する補助。

■企業版ふるさと納税を活用した

eスポーツの普及・裾野拡大に要する経費 eスポーツが有する地域の活性化などの多彩な可能性を実証するため、企業版ふるさと納税を活用し、プロ選手によるエキシビジョンマッチや誰もが参加できる体験会などの普及イベントを実施するとともに、高校生を対象としたトレーニングキャンプの開催。

■公共事業の追加・適正工期の確保に

要する経費

(例)越谷野田線(松伏町)工事着手の前倒し(令和6年4月から令和5年10月予定)等

美員のリスクリングの現場を見る

株式会社(石川県加賀市)は、3Dデジタル技術で誕生したブランド「ARAS(エイラス)」を製造、販売しています。高いデザイン性と耐久性、ガラスと樹脂を組み合わせています。また、同社はロボットを導入し、生産工程の自動化による生産性を1.9倍に向上させています。その背景には、IoTプログラムを自ら柔軟にプログラミングできるよ



Topic



つくばエクスプレス(TX)八潮駅に

「快速」が停車へ!

～朝のラッシュ時に八潮駅始発

「秋葉原」行きの普通列車2本増発へ



皆様からの要望も多かった、八潮駅の快速の停車がついに実現いたします。3月16日(土)のダイヤ改正で、新たに八潮駅に快速が平日43本、休日63本停車いたします。

また、平日朝のラッシュ時も八潮駅始発の秋葉原行きの普通列車が2本増発されます。都心へのアクセスもよりスピーディーに便利になり、また乗降客数の上昇により混雑状況の緩和へ向け始発の増発などより利便性の高い駅となります。これを契機に八潮市の更なる発展に大山忍市長とともに全力を尽くしてまいります。

Notice ご存知ですか？ パーキング・パミット制度

区画が必要な方のために、ご理解とご協力をお願いいたします。

埼玉県思いやり駐車場制度（パーキング・パーミット制度）とは、障害のある方や要介護状態の方、高齢者の方、妊産婦の方など、歩行が困難な方と認められる方に「利用証」を交付し、公共施設や商業施設などに設置されている「車椅子利用者用駐車区画」及び「優先駐車区画」について適正利用を推進する制度です。

パーキング・パーミット制度を導入するため、「埼玉県福祉のまちづくり条例」を改正して「埼玉県思いやり駐車場制度」を令和5年11月1日から開始しました。

制度の対象となる駐車区画（協力区画）は①「車椅子利用者用駐車区画」では、車椅子を使用する方が車から乗降できるように幅3.5m以上の幅広区画となっており、②「優先駐車区画」は、幅3.5m未満の通常幅区画で、障害のある方や要介護状態の方、高齢者の方、妊産婦の方など、歩行が困難な方のための区画としての設置のご協力をお願いします。

利用される方は、利用証の交付のためには、障害者手帳、難病関係受給者証、介護保険被保険者証、母子健康手帳などをお

持ちの方のうち、交付基準を満たす方は各市町村の窓口で申請が必要となります。



利用証(3種類) ※駐車区画のルームミラーに可視

交付対象者、申請方法は県ホームページで確認できます



車椅子利用者用 その他高齢者、障害者等用 妊産婦、けが人等用

利用できる駐車区画 ※イメージ

区画のある施設は県ホームページで確認できます



埼玉県 福祉部 福祉政策課 政策企画担当 TEL.048(830)3223 FAX.048(830)4801

埼玉県思いやり駐車制度

シェイクアウト埼玉の実施 ~ご参加ありがとうございました~

令和5年9月1日、11時58分、県内一斉防災訓練として「シェイクアウト埼玉」を実施いたしました。シェイクアウト訓練は、2008年にアメリカカリフォルニア州で始まった、短時間で、誰でも、どこにいても実施できる防災訓練です。時間になりましたら、それぞれの自宅・学校・職場等で訓練を実施してください。主催者からの合図はありません。

シェイクアウト訓練の後は、さらにプラスワンの取り組みとして災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用などをしてみましょう(災害用伝言ダイヤルは防災週間や毎月1日と15日などに体験利用できます)。これからも皆様のご協力をお願いいたします。



埼玉県 孤独孤立対策ポータルサイト **あなたはひとりじゃない。** つなかる SAITAMA 相談してみませんか?

埼玉県LINE公式アカウント「埼玉県庁」で **防災・災害情報** をお知らせします

【経歴】●八潮市立八條中学校卒業●浦和美業学園高校卒業●東京コミュニケーション専門学校卒業●明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科修了MBA(経営学修士)●平成17年八潮市議会議

員に初当選●平成21年、八潮市議会議員に二期目当選●平成27年、埼玉県議会議員に初当選●平成31年埼玉県議会議員に二期目当選●現在：経済・雇用対策特別委員会委員長●議会運営副委員長、福祉保険医

療委員長など歴任●所属団体：八潮市商工会青年部OB会、八潮市消防団、八條有志クラブ他 www.udagawayukio.com/



ご意見をお寄せ下さい

宇田川ゆきお県政事務所

T340-0801 埼玉県八潮市八條393 TEL.048-932-4055 FAX.048-934-7099 Email.contact@udagawayukio.com

内沼博史

Hiroshi Uchinuma

飯能と埼玉をつなぐ



発行 埼玉県議会自由民主党議員団

内沼博史 事務所

飯能市双柳373-12 あおぞらビル202

TEL.042-978-8518 FAX.042-978-8519

林業関係事業

《森林管理道整備事業》

令和5年度当初予算

箇所名等

事業内容

- ① 西名栗線(上名栗) 開設L=250m
- ② 広河原逆川線(下名栗) 橋梁改良L=44m
- ③ 広河原逆川線(下名栗) 改良L=35m
- ④ 西名栗線(上名栗) 改良L=208m
- ⑤ 大名栗線1(下名栗) 橋梁改良L=30m
- ⑥ 大名栗線2(下名栗) 橋梁改良L=40m
- ⑦ 有馬線(下名栗) 改良L=30m
- ⑧ 大名栗線(下名栗) 舗装L=300m
- ⑨ 花桐線ほか(南川ほか) 橋梁点検
- ⑩ 原市場名栗線1(南) 改良L=61m
- ⑪ 原市場名栗線2(原市場) 改良L=48m
- ⑫ 原市場名栗線3(原市場) 改良L=20m

《治山事業》 令和5年度当初予算

箇所名等

事業内容

- ① 炭谷入(上名栗) 土留工
- ② 穴沢(上名栗) 谷止工
- ③ 前ノ谷(下名栗) 法面工
- ④ 平蔵寺(中藤下郷) 谷止工、緑化工
- ⑤ 間野(虎秀) 調査測量設計

大型予算を確保!! 今年度の飯能市内の主な県事業

令和5年度において予算を確保することができました地元・飯能市における主な県事業(インフラ整備)をご報告します。

県土整備部

令和5年度当初予算

路線名等

事業内容

- ① 二本木飯能線(阿須) 自転車歩行者道整備(L=123m、W=7.0(9.5)m)
- ② 飯能下名栗線(久須美) 社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=140m、W=6.0(12.0)m)
- ③ 飯能下名栗線(原市場) 社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=900m、W=6.0(12.0)m)
- ④ 阿須ガード(富岡入間線) 社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=38m、W=5.5(12.0)m)
- ⑤ 国道299号 道路改築(L=1,700m、W=12m)
- ⑥ 国道299号 インフラレジリエンス推進事業(法面調査)
- ⑦ 秋声橋(国道299号) 橋りょう修繕(補修設計)
- ⑧ 鹿戸橋(飯能下名栗線) 橋りょう修繕(ひび割れ補修)
- ⑨ 下加治高架橋(飯能寄居線) 橋りょう修繕(橋脚補強)
- ⑩ 飯能下名栗線 災害防除(測量設計(W=5m、L=70m))
- ⑪ 国道299号(吾野工区) 災害防除(落石防護工(W=6m、L=57m))
- ⑫ 国道299号(井上工区) 災害防除(擁壁修繕工(W=6m、L=67m))
- ⑬ 青梅秩父線(上名栗工区その1) 災害防除(落石防護工(W=5m、L=93m))
- ⑭ 秩父上名栗線(上名栗工区) 災害防除(測量設計・兼用護岸補修工(W=5m、L=25m))
- ⑮ 馬引沢飯能線(芦荻場) 舗装道整備(舗装修繕(W=7.5m、L=170m))
- ⑯ 国道299号(八幡町) 舗装道整備(舗装修繕(W=8m、L=200m))
- ⑰ 飯能下名栗線(永田) 舗装道整備(舗装修繕(W=7.8m、L=240m))
- ⑱ 富岡入間線(岩淵) 舗装道整備(舗装修繕(W=5.8m、L=300m))
- ⑲ 国道299号(平戸) 舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=240m))
- ⑳ 二本木飯能線(川寺) 舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=370m))
- ㉑ 青梅秩父線(下名栗) 舗装道整備(舗装修繕(W=6.2m、L=400m))
- ㉒ 青梅飯能線(茜台3丁目) 舗装道整備(舗装修繕(W=8m、L=350m))
- ㉓ 日高狭山線(下川崎) 舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=700m))
- ㉔ 中藤川 河川改修(護岸工)
- ㉕ 入間川 河川改修(護岸工、堰整備工)
- ㉖ 虎秀川 砂防維持修繕(護岸修繕工)
- ㉗ 川寺・南町 砂防維持修繕(法枠修繕工)
- ㉘ 下赤工川 砂防施設事業(用地買収、物件補償)
- ㉙ 下赤工川 砂防施設(測量設計)
- ㉚ 南小畔川 砂防施設(溪流保全工、測量設計)
- ㉛ 榎平川 社会資本整備総合交付金(砂防)事業(工事用道路工)
- ㉜ 有間ダム 河川改修事業(水辺)
(ダム管理用制御設備更新工・長寿命化計画見直し検討委託)
- ㉝ 入間川 河川改修(水辺)河川管理施設修繕
- ㉞ 高麗川 河川改修(水辺)河川管理施設修繕
- ㉟ 入間川 川の再生推進(調査1式、工事1式)

令和4年度2月補正予算(国の補正対応分)

路線名等

事業内容

- 補① 榎平川 社会資本整備総合交付金(砂防)事業(測量設計、用地買収、物件補償)
- 補② 下赤工川 砂防施設事業(測量設計)
- 補③ 飯能下名栗線 社会資本整備総合交付金(改築)事業(原市場)(L=900、W=6.0(12.0)m)



④阿須ガード



⑨下加治高架橋(橋りょう修繕)



⑥国道299号(道路改築)

社会的課題の解決と経済の両立

1. DXの推進による生産性の向上 15億7,445万円

- DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
 - 新たな申請基盤の整備・運用【新規】/全庁GIS基盤の整備・運用【新規】/デジタル関連研修の拡充、ノーコードツールの導入【新規・拡充】等
- インフラ建設管理におけるDXの推進
 - インフラデータ活用基盤の整備【新規】/電子納品保管管理システム開発【新規】等
- 3D都市モデル整備によるデータを活用したまちづくりの推進【新規】
- 建築・住宅行政手続のデジタル化
 - 要件定義業務【新規】/審査環境の整備【新規】等
- 税務行政DXの推進
 - バックオフィス連携による納税証明書の省紙化【新規】/税務システム等の異なる機能強化【新規】等
- 入札事務のDX推進
 - 建設工事等入札参加資格申請のオンライン化のためのシステム改修【新規】/電子入札共同システムの再開発【新規】等
- デジタル技術を活用した県民の利便性の向上
 - キャッシュレス取納の環境整備【新規】/立会人型電子契約サービスの導入【新規】等
- 県内中小企業のDX推進
 - 埼玉県DX推進支援ネットワークの機能強化【拡充】/優れたDXの取り組みの表彰・横展開【新規】等



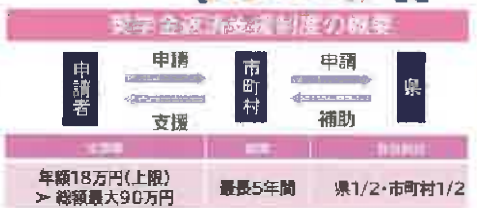
2. 資源のスマートな利用の推進 18億8,408.7万円

- 脱炭素社会の実現に向けた中小企業や家庭への支援
 - 家庭・企業等向け省エネ・再エネ活用設備導入に対する補助【拡充】/電動車等導入に対する補助【新規】等
- | | |
|-------|--|
| 家庭向け | 太陽光パネル(7万円/kW)+蓄電池等(10万円/件)、蓄電池等(10万円/件)、エネファーム(10万円/件)等 |
| 企業等向け | 太陽光パネル(5万円/kW)+蓄電池(補助率1/3)等、再エネ活用設備(補助率2/3)、コージェネレーション(補助率1/2) |
- サーキュラーエコノミーの推進
 - サーキュラーエコノミー型ビジネスの創出【新規】/県有大规模集客施設における実証及び啓発【新規】/ワンストップ支援拠点による支援【新規】/リーディングモデルの構築【新規】等
 - 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進
 - 市町村と企業等とのマッチングを行うガバメントピッチの開催【新規】/プロジェクトに取り組む市町村への財政支援【拡充】(令和5年度は29市町村が取り組む)等



3. 輝き続ける人材の育成・確保 2億3,307.3万円

- 産業人材の育成
 - AI・IoT関連の応用講座の新設【新規】/AI・IoT関連の基礎講座の充実【拡充】等
- 教科等横断的な学びの推進
 - 教科等横断型の教育課程の検討・実践【新規】等
- 医師確保対策の推進
 - 特設WEBサイトの構築【新規】等
- 保育士の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的取り組みの推進
 - 奨学金返済支援制度の創設【新規】等
- 放課後児童クラブの充実
 - 保育士養成校へのアプローチ【新規】等



■森林・林業基盤の整備 14億3,648万円

森林・林業基盤を整備することで、森林の適正な維持管理とともに、森林生産力の増進を図る。

1. 治山施設の整備(6億76.3万円)
 - ・箇所数: 22箇所
2. 森林管理道の整備(8億3,571.7万円)
 - ・箇所数: 73箇所



■県産木材活用住宅等支援事業 5,341万円

製材工場等と協定を締結し、県産木材を40%以上利用する工務店等に対する支援を行う。【新規】

※前事業「埼玉の木みんなで使って豊かな暮らし応援事業」との変更点

- ・補助対象を施主から工務店等へ変更
- ・県産木材の利用割合に応じた補助単価を新設(40%枠、60%枠、80%枠)



■県産木材需要拡大事業 1,609万円

従来の公共施設の木造化・木質化に加え、民間事業者に対する県産木材利用促進を図る。

- ①都市と山をつなぐ木造施設整備支援事業(新規/1,547.3万円)
- ②都市の木づかいオアシス創出事業(新規/61.7万円)等

■輸入木材に頼らない県産木材供給体制促進事業 5,155万円

県産木材の供給体制を見直し、県産木材の供給量を増やすとともに工務店等が県産木材を入手しやすい仕組みを構築することで、ウッドショック下で品不足となった輸入木材から県産木材への転換を図る。

- ①木材加工施設の整備(新規/3,005万円)
- ②サプライチェーンの構築(新規/1,115万円)
- ③県産木材供給体制における課題解決のための調査(新規/1,035万円)等



■Next川の再生の推進 6億491.7万円

埼玉版SDGsでは、重点テーマの1つに「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」を掲げ、豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉の実現を目指している。そこで魅力的な水辺空間の保全・創出と良好な水辺環境の保全の視点から多様な主体と連携しながら河川空間の利活用を推進する「Next川の再生」に取り組む。

- ①民間事業者等と連携した水辺空間の利活用(4億5,491.7万円)
- ②自然や生物、景観に配慮した河川整備(8,000万円)
- ③地域活動と連携した河川の浸透等(7,000万円)



■観光振興推進のための体制強化 1億8,350万円

県物産観光協会がDMOとして求められる「観光地域づくりの舵取り役」となるための機能強化を図る。観光振興の新たな取り組みを生み出すため、観光関連事業者間のネットワークづくりを強化する。

1. 観光地域づくりを牽引する県DMO事務局の機能強化(1億3,554万円)
2. 観光プロモーション戦略会議強化事業(4,796万円)

※観光プロモーション戦略会議: 本県の観光振興に向けて、様々な観光関連事業者や地域の観光協会、行政等が連携して県全体で取り組みを推進するために設置(構成団体: 旅行業、宿泊、バス、タクシー、鉄道、地域観光協会、物産、行政)

■ポストコロナにおけるインバウンド誘致の促進 1億5,556万円

1. 民間事業者や地域と共に取り組む機運醸成・ブランディング(1,072.3万円)
 - ①都内ホテル、交通事業者、観光事業者、県内市町村等とのネットワーク構築(198.5万円)
 - ②新たなキャッチコピー・ロゴ製作(55万円)
 - ③「近さ」を実現するための官民連携の強化(818.8万円)等
2. 「近さ」を実現する受入体制整備(1億1,607.3万円)
 - ①埼玉観光サポートデスク(仮称)の設置・運営(5,433.6万円)
 - ②特徴ある体験コンテンツ等の提供事業者の増加(499万円)
 - ③旅の満足度を高める「おもてなし通訳案内士」による案内(374.7万円)
 - ④インバウンド実態調査(5,300万円)
3. 「近さ」を徹底的に情報発信(2,876.4万円)
 - ①ホテルコンシェルジュ向け県内下見ツアーの実施(276.4万円)
 - ②都内ホテル宿泊者向けキャンペーンの実施(1,100万円)
 - ③旅のスタイル・嗜好に応じた旅マエの情報発信(1,500万円)

■地域の魅力創造発信と移住の促進 9,382万円

1. 地域の魅力創造発信(1,500万円)
 - ①戦略的シティブランディング・プロモーション「ふるさと創造資金」(新規/1,000万円)
 - ②市町村企業版ふるさと納税支援事業(新規/500万円)
2. 移住の促進(7,882万円)
 - ①埼玉移住促進事業(一部新規/2,709.7万円)
 - ②新規・拡充内容: 埼玉移住ガイドブックの作成【新規】、各種メディアを活用した移住情報の発信【新規】
 - ③移住就業等支援金支給事業(5,172.3万円) 東京23区から対象10市町村に移住し就業した者等に支援金を支給する。また、18歳未満の子どもを帯同して移住する場合には支援金を加算する。(国1/2・県1/4・市町村1/4)

内沼博史

Hiroshi Uchinuma

飯能と埼玉をつなぐ



発行 埼玉県議会自由民主党議員団

内沼博史 事務所

飯能市双柳373-12 あおぞらビル202

TEL.042-978-8518 FAX.042-978-8519



所属委員会

県土都市整備委員会

自然再生・循環社会対策特別委員会 (委員長)

図書室委員会

補正予算【第2号】

165億1,057万9千円

コロナ支援継続・重要公共事業の追加・eスポーツ普及へ

県議会9月定例会は9月22日から10月13日にかけて開催され、一般会計補正予算【第2号】165億1,057万9千円の計上等を議決しました。

補正予算の主な内容は、高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続のための予算として69億4,946万6千円、重要な公共事業の追加予算として21億6,345万3千円、企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大のためのイベント開催に要する予算として1,062万9千円など、当面对応すべき事業に対する補正予算が盛り込まれました。

シェイクアウト埼玉へのご参加、ありがとうございました。

■実施日:令和5年9月1日 11時58分～ ■参加人数:594,476人

関東大震災から100年を契機に、県議会が中心となって県内一斉防災訓練を働きかけることで、県民をはじめ県内在勤・在学の方の「自助」「共助」の意識向上をめざし、シェイクアウト埼玉(埼玉県内一斉防災訓練)を実施させていただきました。多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。



公共事業の追加 / 企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大

公共事業の追加

21億6,345万3千円

公共事業の内定増に伴う追加工事の実施

- 道路・街路事業 21箇所
- 河川事業 13箇所
- 公園事業 1箇所 計 35箇所

例:越谷野田線(松伏町)

- 地盤改良工事
- 工事着手の前倒し
(令和6年4月予定→令和5年10月予定)

例:飯盛川(坂戸市)

- 排水機場整備工事、用地買収
- 工事着手の前倒し
(令和6年4月予定→令和5年10月予定)

熊谷スポーツ文化公園(熊谷市)

- 損傷の激しい駐車場舗装の改修を実施
- 工事着手の前倒し
(令和6年4月予定→令和5年10月予定)



企業版ふるさと納税を活用したeスポーツイベントの開催

1,062万9千円

概要

企業版ふるさと納税

eスポーツの普及・裾野拡大に向け、その地域活性化など多彩な可能性を実証するため、2つのイベントを開催

(1) 普及イベント

- 対象:誰もが参加可能(参加無料)
- 内容:プロ選手エキシビジョンマッチ
・ビギナー向け体験会
・プロ選手との交流会 等



(2) トレーニングキャンプ

- 対象:高校生(公募25名程)
- 内容:プロチームによる指導(操作技術、戦術等)
・メンタル、食事等指導
・学校関係者、県内企業の見学受入れ 等

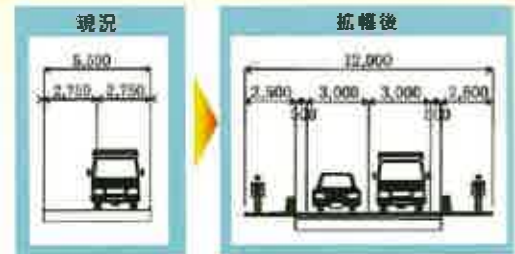


阿須ガードの拡幅工事が本格始動!!

地域の皆さまから強くご要望をいただき、最重要課題として取り組んでまいりました一般県道富岡入間線とJR八高線交差部の「阿須架道橋（通称：阿須ガード）」の道路拡幅工事（歩道整備）が、9月から本格的に始まりました。

それに伴い阿須ガードは終日通行止めの措置が取られ、さらに阿須地区周辺的生活道路への車の流入を抑制するため、県は飯能市街地の外側に車両等を振り分けるための看板を要所に立て、またホームページで提示し広域迂回を促しています。期間は令和9年9月までの予定です。通行止めの期間が長期にわたることから、期間が少しでも短縮できるよう、JR、県土整備事務所をお願いしてまいります。

地域の皆さまには期間中、ご不便・ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。



・幅員を広げる(12m)・歩道と車道を分離する



阿須ガード拡幅事業のスケジュール

【事業期間(予定)】 現段階の予定であり、変更となる可能性があります。

支障物移転工事、令和4年1月～令和5年9月(占有物、鉄道施設工事、道路規制なし)

本体工事、復旧工事 令和5年9月～令和10年3月(予定)

通行止め

令和5年9月～

令和9年9月(予定)

	R4年度(2022) 9月 12月 3月	R5年度(2023) 4月 9月 3月	R6年度(2024) 4月 9月 3月	R7年度(2025) 4月 9月 3月	R8年度(2026) 4月 9月 3月	R9年度(2027) 4月 9月 3月
支障物移転工事	[Progress bar from R4 Sep to R5 Sep]					
交差点改良 (林業センター前) (埼玉県施工)	[Progress bar from R5 Apr to R5 Sep]					
本体工事 (JR施工)	[Progress bar from R5 Sep to R9 Sep]					
復旧工事 (県道整備)(埼玉県施工)	[Progress bar from R9 Sep to R10 Mar]					

通行止め4年1ヶ月 片側交互通行

阿須ガード拡幅工事期間中の広域迂回路図

国道・県道へ車両を誘導し、県道富岡入間線への流入、阿須地区周辺生活道路への流入を抑制



内沼博史

Hiroshi Uchinuma

飯能と埼玉をつなぐ



発行 埼玉県議会自由民主党議員団

内沼博史 事務所
飯能市双柳373-12 あおぞらビル202
TEL.042-978-8518 FAX.042-978-8519



物価高への緊急支援に

約115億円

猛暑被害の農家支援に

約1億円を議決

県議会12月定例会は12月4日から22日の日程で開催され、一般会計補正予算【第3号】9,688万1千円、【第4号】18億1,140万4千円、【第5号】114億9,715万2千円等を議決しました。

補正予算【第3号】は、令和5年夏の猛暑による水稻、大豆の高温障害を受け、次期作付けにかかる種苗や肥料購入経費を補助するための予算、補正予算【第4号】は、職員給与の改定等に伴う予算が主な内容となっています。

補正予算【第5号】は、物価高騰により厳しい状況に置かれている県民及び事業者を支援するための、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づくものです。これまで県が進めてきた福祉・医療施設等への光熱費等の支援やLPガスを使う一般家庭への支援等に加え、トラック運送事業者に対する燃料費の支援、県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者支援及び家計負担軽減策、一人親家庭の子供の進学等への支援等が新たに盛り込まれました。

所属委員会

- 県土都市整備委員会
- 自然再生・循環社会対策特別委員会 (委員長)
- 図書室委員会

補正予算【第3号】の主な内容

高温などによる水稻及び大豆の被害への対応

農業災害対策特別措置条例に基づく支援 **9,676万5千円**

【特別災害の指定 令和5年11月21日】

令和5年夏の気象概況

- 6～9月の平均気温が観測史上最高となる異常な高温
- 県内の一部では7月の降水量が観測史上最少
- 高温や干ばつによる県内農作物への甚大な被害が発生⇒農業災害対策特別措置条例に基づく特別災害に指定(令和5年11月21日)



補助内容等

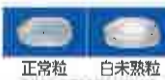
- 次期作付けに係る経費を支援する市町村に対して補助
- 支援対象: 高温・干ばつにより被害を受けた農業者
- 補助対象: 種苗、肥料購入経費
- 事業主体: 市町村
- 負担区分: 県1/2、市町村1/2



県内の農作物の被害状況

水稻: 高温の影響で米の粒の一部が白くなる
白未熟粒の米が発生
被害面積: 1,221ha(速報値)

大豆: 高温・干ばつの影響で十分に成熟しない豆が発生
被害面積: 307ha(速報値)



対象地区

県内全市町村
(高温・干ばつの影響で被害を受けた地域)

事業スキーム



オリンピック・パラリンピック・デフリンピック応援議員連盟に名称変更

私が参加している「埼玉県議会オリンピック・パラリンピック応援議員連盟」は12月12日に総会を行い、2025年に日本で初めて開催される聴覚障害者のためのオリンピック「デフリンピック」を応援するため、「埼玉県議会オリンピック・パラリンピック・デフリンピック応援議員連盟」に名称の変更を参加議員の総意で決めました。

総会には聴覚障がい者協会の方にお越しいただき、デフリンピックについて説明をしていただきました。少しでも多くの方にデフリンピックについて関心を持っていただけるよう、応援議員連盟としても全力で取り組んでまいります。



埼玉県議会オリンピック・パラリンピック・デフリンピック応援議員連盟のメンバー

※デフリンピックについては一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会のホームページをご覧ください。
<https://www.jfd.or.jp/sc/deaflympics>



このたびの能登半島地震におきまして、犠牲となられた方のご冥福を深くお祈りいたしますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申しあげます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

補正予算[第5号]の主な内容

(1) 物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援

- ① LPガスを使用する一般消費者等に対する支援…………… **31億8,743万7千円**
LPガス料金の高騰による一般消費者等の負担を軽減するため、販売事業者を通じ、価格高騰の影響分の一部を補助する。〈繰越明許費の設定〉
- ② **新**子供の進学等への支援…………… **1,171万5千円**
経済的課題を抱えるひとり親家庭等の子育て世帯について、子供の進学に向けたチャレンジを後押しするため、大学等の受験料や中学・高校3年生の模試費用などの支援を行う市町村に対して補助する。
- ③ 福祉施設、医療施設等に対する支援…………… **36億148万4千円**
光熱費等の高騰の影響を緩和するため、高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、病院、一般診療所、分娩取扱助産所、施術所、私立学校、卸売市場、園芸施設等に対し補助する。
- ④ **新**トラック運送事業者に対する支援…………… **23億2,800万円**
燃料価格の高騰の影響を緩和するため、運送事業者に対し補助する。〈繰越明許費の設定〉
- ⑤ 地域公共交通事業者に対する支援…………… **1億2,900万円**
燃料価格の高騰の影響を緩和し運行継続を支援するため、乗合バス及びタクシー事業者に対し補助する。
- ⑥ 畜産農家に対する支援…………… **5億1,335万円**
配合飼料価格のうち製造及び流通コストの上昇分の影響を緩和するため、畜産農家に対し補助する。
- ⑦ **新**県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業者
支援及び家計負担軽減…………… **3億489万4千円**
県産農産物の取扱量の増加及び県民の家計負担の軽減を図るため、量販店等が行う販売促進キャンペーンに対し補助する。



(2) 物価高騰の影響を受けにくい経営体質への転換を促す支援

- ① 中小企業等における原材料の転換等の支援…………… **5億1,842万6千円**
原材料価格の高騰を踏まえ、原材料の転換や使用量削減による経営体質改善を更に促すため、専門家や認定支援機関の助言に基づき中小企業等が実施する設備投資や製品開発等に要する経費を補助する。〈繰越明許費の設定〉
- ② 中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への支援…………… **14億円**
中小企業等におけるエネルギー使用量及びCO₂排出量の削減による体質改善を更に促すため、空調設備・ボイラー等の更新及び蓄電池と組み合わせた太陽光発電設備等の導入経費を補助する。〈繰越明許費の設定〉
- ③ **新**施設園芸農家の省エネ転換への支援…………… **2億4,675万円**
燃料価格の高騰の影響を受けにくい省エネ型施設園芸への転換を促進するため、施設園芸農家に対して、ヒートポンプなどの省エネ機器や資材の導入経費を補助する。〈繰越明許費の設定〉



埼玉県議会 自由民主党議員団 (58名)